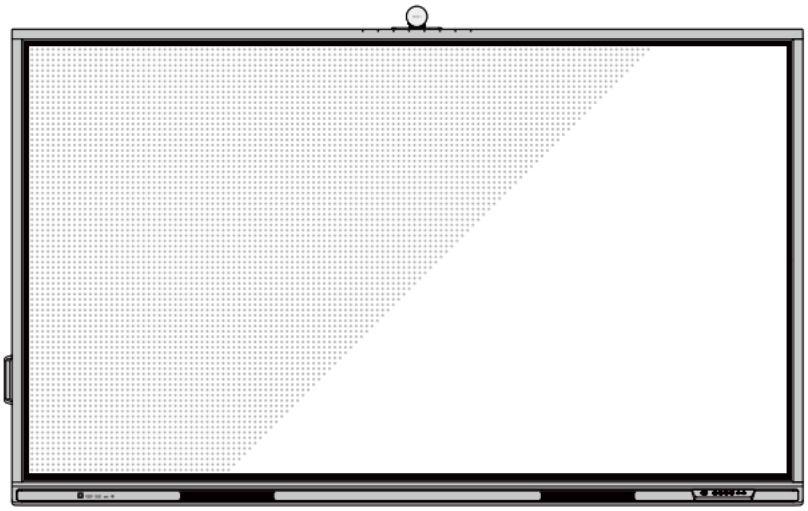
newline

QA SERIES

タッチスクリーン

取扱説明書

V2.1.3



本書は大切に保管してください。

このマニュアルの写真はあくまで参考です。実際の製品を参照してください。

目次

本書について **6**

ご使用の前に **7**

1. 製品に関して **12**

1.1 はじめに 12

1.2 各部名称 13

1.3 入出力ポート 15

1.4 前面ボタン 17

1.5 リモコン 19

2 製品の設置に関する注意 **20**

2.1 安全に関する注意事項 20

2.2 設置に関する注意 21

2.3 設置 23

2.4 Wi-Fi モジュールの取り付け 24

2.5 カメラモジュールの取り付け 25

2.6 内蔵パソコン（OPS）のインストール 26

2.7 SDM-S の取り付け（SDM-S はオプション購入品） 27

3 製品を使用する **28**

3.1 電源を入れる 28

3.2 電源を切る 28

3.3 キャリブレーション 30

4 タッチスクリーンの操作 **33**

4.1 ログオン画面 33

4.2 スタート画面 35
4.3 内蔵 PC(OPS) 41
4.4 信号源 41
4.5 ホワイトボード 42
4.5.1 ホワイトボード 43
4.5.2 ホワイトボード機能 45
4.5.3 ページマネージメント 56
4.5.4 ホワイトボード設定 58
4.6 手書きモード 61
4.7 チュートリアル 64
4.8 ツールバー 65
4.9 ガジェット 67
4.9.1 Newline Cast 69
4.9.2 File Commander 69
4.9.2.1 ファイルビューアー 70
4.9.2.2 プレビュー 70
4.9.2.3 ファイルの検索 71
4.9.2.4 フィルタリング 71
4.9.2.5 新規ファイル・フォルダーの作成 72
4.9.2.6 ファイル操作 73
4.9.2.7 ファイル名 73
4.10 システム設定 74
4.10.1 ネットワーク 74
4.10.2 接続済みのデバイス 75
4.10.3 言語と入力設定 76
4.10.4 日付と時刻設定 77
4.10.5 ストレージ 78
4.10.6 アプリ 78
4.10.7 表示&テーマ 79
4.10.8 ツールバー　設定 80
4.10.9 入力と出力設定 80
4.10.10 電源設定 81

4.10.11 アイプロテクション 84
4.10.12 システム 84
4.11 セッションの保存 90
4.12 自動的に電源オフ 91
5 ショートカットの追加と削除 91
5.1 ホーム画面へのショートカットの追加と削除 91
5.2 Newline アシスタント 92
5.2.1 インストール 92
5.2.2 クイックスタート Windows プログラムを追加する 93
6 クイック設定メニュー 94
7 シリアルポート制御 96
8 よくある質問とトラブルシューティング 104
9 主な仕様 107
10 詳細情報 110

LED インタラクティブタッチスクリーン QA シリーズをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご利用の前に本書を必ずお読みください。

また、本誌は大切に保管をしてください。

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

NOTE 1: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

NOTE 2: Any changes or modifications to this unit not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

右側のシンボルは本製品を家庭ごみとして廃棄してはならないことを示します。本製品を製品寿命などで廃棄する時には、リサイクルに関する法律や条例に従ってください。電気機器や電子機器を廃棄する際は、自治体が指定した場所と方法に基づきリサイクルしてください。

本書について

本書は製品に関する様々な機能の紹介、注意事項、インストラクションなどを含んでおります。

特に注意が必要な箇所は記号とともに記されております。

各記号は下記を表しております:

NOTE	メインの文章に追加して、操作に関する追加情報が示されています。
CAUTION	誤った方法で操作をおこなった場合に、機器の破損やデータの損失、パフォーマンスの低下など、予期せぬ結果を招く恐れがある注意すべき事項が示されています。
WARNING	誤った方法で操作をおこなった場合に、死亡事故や怪我などを招く恐れがある注意すべき事項が示されています。

ご使用の前に

製品を安全にご使用頂くために、ご使用前に下記のインストラクションをご確認ください。誤った製品の使用方法は怪我、事故の元になります。感電を避けるためにむやみに分解しないでください。必ず認定されたサービス担当者にコンタクトしてください。

WARNING	
	重大な症状が見られた際には必ず本製品の電源を抜いてください。 重大な症状には下記が含まれます。 ・発煙、焦げたような匂い、異音などが本製品から発生している。 ・画面が映らない、音が出ない、画面にエラーが生じている。 上記の症状が見られた場合には、製品の使用を直ちに中止し、コンセントからケーブルを抜いた後に、認定されたサービス担当者にコンタクトしてください。
	液体や金属、可燃物を本製品内部に入れないでください。 ・もし、液体や金属などが入ってしまった場合、直ちに電源を切り、コンセントからケーブルを抜き、コンセントからケーブルを抜いた後に、認定されたサービス担当者にコンタクトしてください。 ・製品の使用時に周りに小さな子供がいないか注意してください。
	製品を安定した平らな場所に設置してください。 傾斜面、ぐらぐらしたスタンドや机の上など、不安定な場所への設置は製品が倒れるなどして、事故や故障の元となります。
	本製品のパネルを分解したり、改造したりしないでください。 製品には高電圧部品が組み込まれています。感電の危険がありますので、本製品の検査やメンテナンスが必要な場合は、必ずサービス担当者にコンタクトしてください。
	本製品に付属している電源ケーブルを必ずご使用ください。 ・付属の電源コードは当該製品専用です。他の機器に使用しないでください。 ・必ずアース接続をおこなってください。 ・長時間にわたり使用しない場合、本製品の電源を抜いてください
	定期的に電源プラグをクリーニングしてください。

WARNING	
	・クリーニングの際には必ず電源を切っておこなってください。 ・クリーニングの際には必ず本体の電源ケーブルを抜き、乾いた布でおこなってください。
	背面の電源ポートの定格出力は 5V/2A（最大）です。 必要に応じて電源コード/AC アダプターをご購入下さい。電源仕様が異なる製品を接続しないで下さい。製品の破損や火事の原因となります。
	製品の上に物を置かないでください。 ・製品の上に、液体を含む容器などを置かないでください。 ・本製品に液体が入ってしまった場合、製品がショートし、火事や感電の原因となります。 ・本製品に乗っかったり、物をかけたりしないでください。
	本製品を不適切な場所に設置しないでください。 ・浴室など高温多湿の場所、シャワールーム、また雨や雪、過酷な天候に晒される可能性のある窓際、室外などに設置しないでください。温泉などの蒸気が当たる場所に製品を設置しないでください。不適切な場所への設置は、極端な場合は感電や火事などの事故の元になります。 ・火元の近くに本製品を設置しないでください。また、キャンドルなど火のついた物を製品の近くに置かないでください。
	雷の際には本製品をコンセントから外してください。 ・感電の原因になるため、雷がなっている時には本製品を触らないでください。 ・怪我の元になる高圧を伴う製品は、小さな子供が届かない場所に設置してください。
	濡れた手で電源ケーブルに触れないでください。感電の原因となります。

CAUTION	
	本製品を高温の場所に設置しないでください。 ・ラジエーター、蓄熱体、ストーブ、その他の暖房器具など、熱源の近くに本製品を設置しないでください。 ・直射日光が当たる場所へ本製品を設置しないでください。本製品が高温になり、故障の原因となります。
	輸送に際して: ・本製品の輸送の際には移動性やメンテナンス性を考慮し、本製品が入っていたカートン及び緩衝材をご使用ください。 ・本製品を移動する際には必ず製品を垂直にして運んでください。間違った方向で運ぶと、タッチスクリーンやその他の部品の思わぬ故障の原因となります。 ・輸送の際には、ケーブル等の全ての接続や固定用金具を外してから運んでください。また、移動の際には周囲に衝突したり、挟まらないよう、気を付けてください。特にスクリーン部分などは破損しやすく、破損の際にガラスなどが飛び散り思わぬ怪我等の原因となります。
	本製品の通気部分を塞がないでください。 ・本製品に使用している部品が高温になり、火事や故障、製品寿命が短くなるなどの原因となります。 ・通気部分を下向きに塞いでに設置しないでください。 ・カーペットやベットシートなどの上に製品を設置しないでください。 ・テーブルクロスなどの布で本製品を覆わないでください。
	ラジオや強い電磁波の発生する製品の近くで使用しないでください。 本製品は国際 EMI 規格に基づき防磁処理が施されていますが、それでも干渉が存在し、無線ノイズを発する場合があります。ノイズが発生した際には下記をお試しください。 ・製品への干渉を防ぐため、無線のアンテナの方向を調整してください。 ・本製品から無線を離してご使用ください
	スクリーンのガラスが破損した場合 ・安全を確保するために、できるだけ 3m以上の距離を確保して近づかないようにしてください。 ・タッチスクリーンが破損したり外れた場合は、自分でスタンドから降ろしたり分解

⚠ CAUTION	
	したりせず、必ず認定されたサービス担当者にコンタクトしてください。
	電池は正しくご使用ください。 ・誤った方法で電池を使用すると、液漏れ、腐食、火事などの原因となります。 ・必ず指定された種類の電池をご使用の上、正しい方向（極性）に入れてください。 ・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。 ・長期間にわたり使用しない場合、電池をリモコンから取り外してください。 ・直射日光の当たる場所や日の近くなど、高熱の場所に電池を放置しないでください。 ・地方の条例等に従い電池を廃棄してください。
	電源ケーブルにダメージを与えないでください。 ・電源ケーブルを傷つけたり、変更したり、ねじったり、曲げたり、過度な力で引っ張らないでください。 ・電源ケーブルに製品本体など重いものを載せないでください。 ・電源ケーブルを取り外す際に、過度な力で引っ張らないでください。もし、電源ケーブルにダメージがある場合には、製品の使用を直ちに中止して、コンセントからケーブルを抜いた後に、認定されたサービス担当者にコンタクトして修理または交換を依頼してください。 ・付属品ボックス内の電源ケーブルは本製品専用です。他の製品では使用しないでください。
	ご使用の際に ・目の保護のために、明るい場所で本製品をご使用ください。暗い場所や極端に明るい場所は目を傷める恐れがあります。 ・長時間のご使用の後には目を休めてください。 ・画面を見る際には、目の保護のために十分な距離をあけてください。 ・特に夜間のご使用などには音量にご注意ください。 ・音声入力源として外部機器を使用する場合はご注意ください。外部機器の音声出力用としてご使用の際には、外部機器からの音声入力が内蔵スピーカーの最大出力を上回らないようにご注意ください。スピーカーの過負荷および故障などの原因となります。

⚠ CAUTION	
	USB ポートに関して 前面のマークのついた USB ポートおよび、背面の USB 3.0/USB 2.0 ポートは、表示している信号源により、接続が変わります。USB ポートに接続された外部機器を信号源として使用中の場合、使用を終了するまで信号源を変更しないでください。データの読み取りや書き込みの途中で信号源を変更した場合、データや製品の破損の原因となります。

1. 製品に関して

1.1 はじめに

Newline Interactive 製タッチスクリーンをお買い上げ頂きましてありがとうございます。

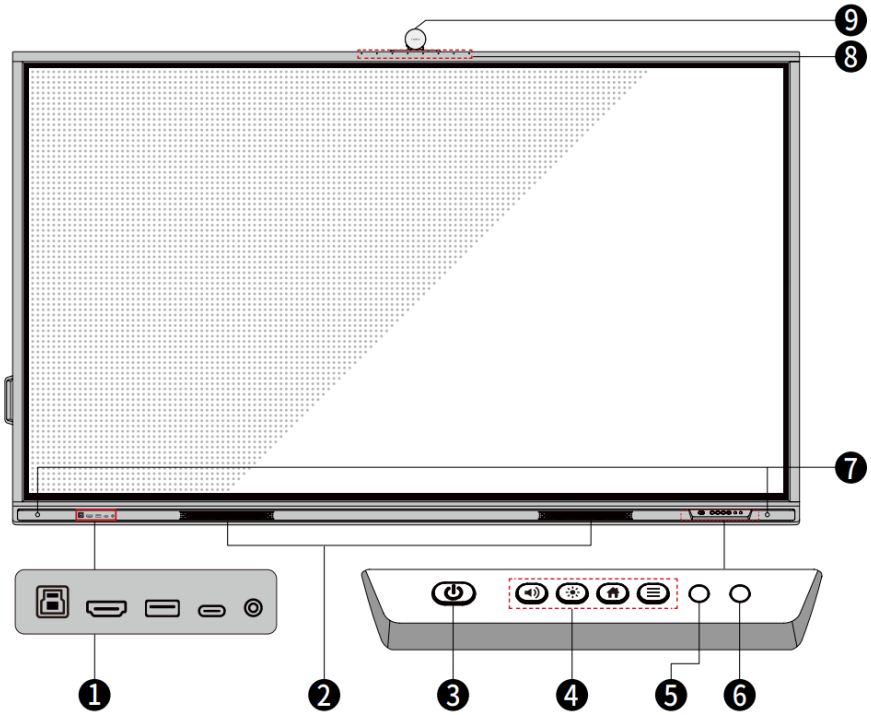
本製品はインタラクティブな教育やデモンストレーション、マルチメディアを使用したプレゼンテーションなど様々な用途にご使用いただけるタッチスクリーンです。指やペンなどを使用して、手書き入力を行うことができ、スクリーン上のあらゆるものの編集などを行うことができます。

本製品の特長：

- 用途に応じてカスタマイズ可能なインターフェイス
- ケーブル接続やワイヤレスでの接続など、パソコンやスマートフォンなど様々な機器との接続が思いのままに可能
- 4K 高解像度
- 指とペンを自動的に検知し、それぞれに異なる機能を持たせることが可能。
- ペンで紙に書いているような感覚で、画面への書き込みが可能。

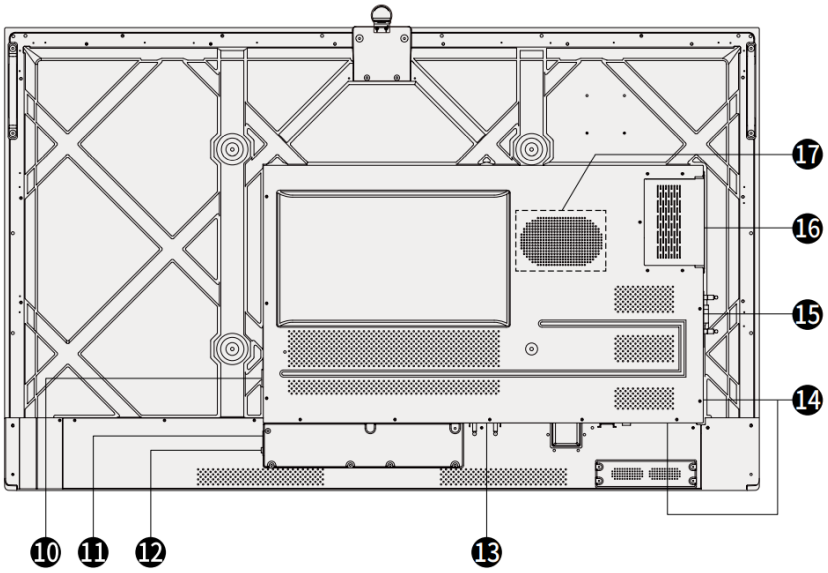
1.2 各部名称

- 前面

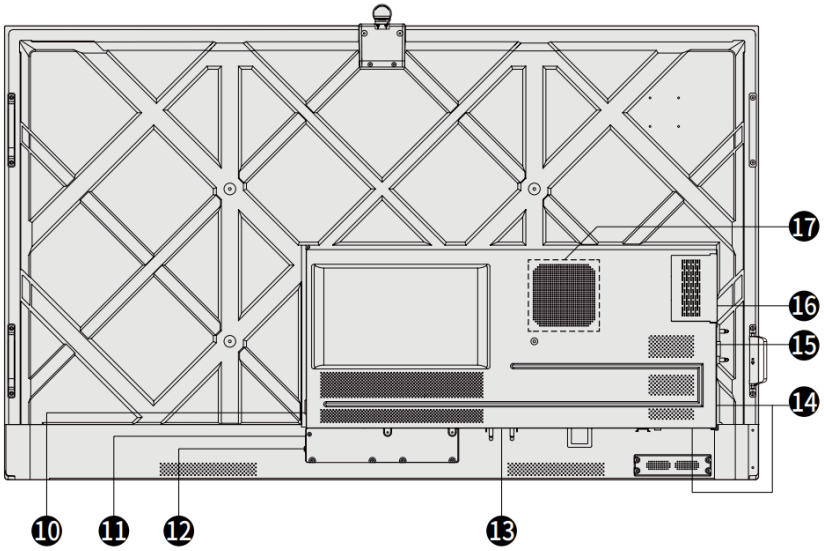


- 背面

＜65 インチ＞



＜75 インチ/86 インチ＞



❶	前面ポート	❿	電源出力プラグ
❷	スピーカー	⓫	電源プラグ
❸	電源オン/オフ	⓬	主電源スイッチ
❹	前面ボタン	⓭	SDM-S スロット
❺	リモコン受光部	⓮	背面ポート
❻	光センサー	⓯	Wi-Fi モジュールスロット

❼	近接センサー	⓰	内蔵 PC 用スロット（OPS）
❽	マイク	⓱	ウーファー
❾	カメラ		

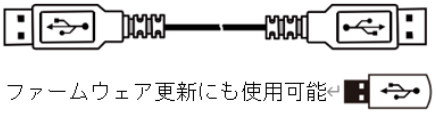
NOTE

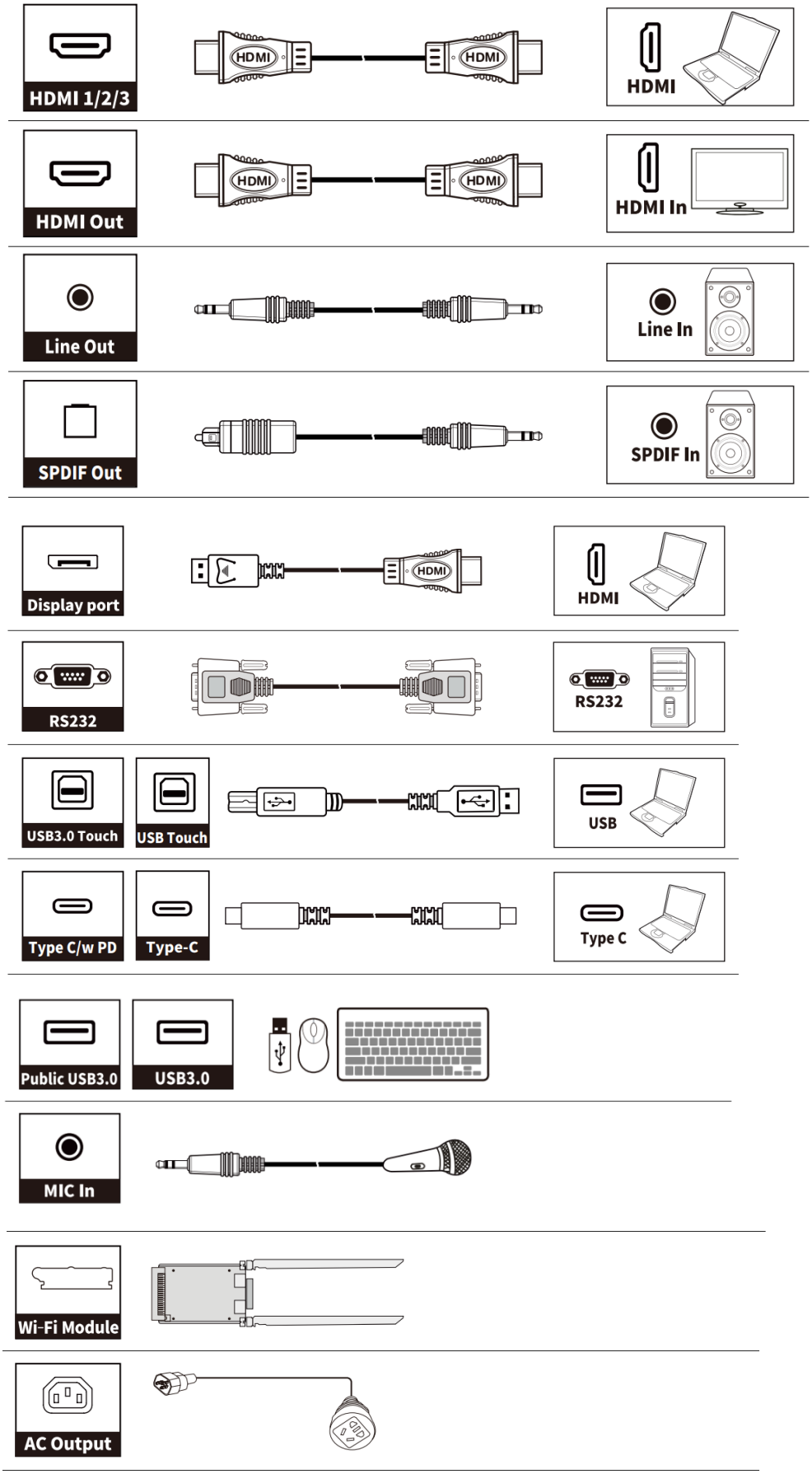
- SDM-S は小型のスマートディスプレイコンピューターモジュールです。
- 表示されている商品画像は説明のみを目的としており、商品を正確に表しているとは限りません。
- SDM-S とは Smart Display Module Small のことです。
- 掲載されている製品画像はイメージであり、製品を正確に表現していない場合があります。

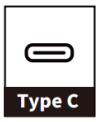
1.3 入出力ポート

CAUTION

前面のマークのついた USB ポートおよび、背面の USB 3.0/USB 2.0 ポートは、表示している信号源により、接続が自動的に変わります。USB ポートに接続された USB フラッシュメモリーなどが選択されている信号源で使用中の場合、使用終了するまで信号源を変更しないでください。データの読み取りや書き込みの途中で**信号源を変更した場合、データや製品の破損の原因となります。USB ポートは USB2.0 が最大 500mA、USB3.0 が最大 900mA の給電に対応しています**。パネルに挿入する前に、USB フラッシュドライブが FAT32 にフォーマットされていることを確認してください。




HDMI 1/2/3
HDMI
HDMI
HDMI
HDMI Out
HDMI
HDMI
HDMI In
Line Out
Line In
SPDIF Out
SPDIF In
Display port
HDMI
HDMI
RS232
RS232
USB3.0 Touch
USB Touch
USB
Type C/w PD
Type-C
Type C
Public USB3.0
USB3.0
MIC In
Wi-Fi Module
AC Output

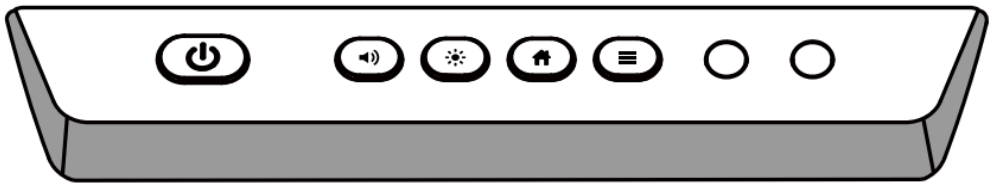


Type C on top side

WARNING

背面の電源ポートの定格出力は 5V/2A です。必要に応じて電源コード/AC アダプターをご購入ください。電源使用が異なる製品を接続しないでください。製品の破損や火事の原因となります。

1.4 前面ボタン



ボタン	操作	機能
⏻	短く押す	電源オン/オフ • 赤く点灯: シャットダウン状態 • 白く点灯: オンの状態
		スリープモード • 赤と白のランプが交互に点滅します。ディスプレイがスリープモードに入ります。
	2 秒以上長押し	電源オフ • 赤く点灯:シャットダウン状態
🔊	短く押す	音量を調整します

ボタン	操作	機能
	短く押す	明るさを調整します
	短く押す	ホーム画面に戻る
	短く押す	クイック設定メニューを開きます
	5 秒間長押し	電源ボタンロック機能を有効/無効化します。

1.5 リモコン

CAUTION

事故などの防止のために、下記の点をよくご確認の上、リモコンをご使用ください。:

・リモコンを落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

・液体をこぼさないでください。

・濡れた表面にリモコンを置かないでください。

・直射日光や、高温の場所に放置しないでください。

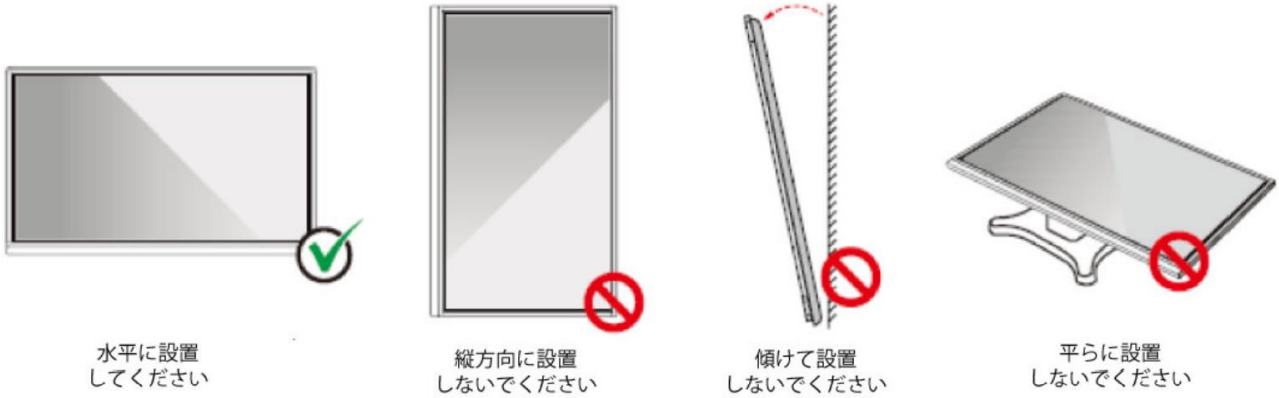
ボタン	機能
	電源オン/オフ
	ホーム画面に戻る
	上下左右へのカーソルの移動
	決定/OK
	一度押すと、現在の画面がフリーズします。もう一度押すとフリーズ機能を終了します
	信号源の切り替えページへ移動する
	前に戻る/終了
	現在実行中のタスクを見る
	メニューを開く
	スクリーンショットを撮る
−	短く押し、音量を 1 レベル下げる 長押しし、音量を下げ続ける
	ミュート/ミュート解除
+	短く押し、音量を 1 レベル上げる 長押しし、音量を上げ続ける

2 製品の設置に関する注意

2.1 安全に関する注意事項

設置環境に関しての注意

設置方向



2.2 設置に関する注意

本体重量/耐荷重量

製品の重量: それぞれ 65 kg (86 インチ)、50 kg (75 インチ)、39kg (65 インチ)です。

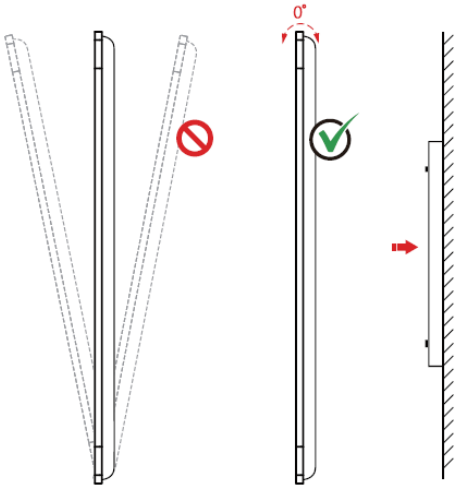
- 可動式のスタンドに設置する場合、スタンドの耐荷重が製品を上回っていることを事前にご確認くださ。
- 壁壁掛けブラケットをご使用の場合、壁に十分な耐荷重があるか事前にご確認くだい。補強され、製品の約 4 倍の耐荷重のある壁への設置を推奨しております。詳しくは、壁掛けの設置業者へご確認ください。
- VESA マウントブラケットを取り付けます。本機は、GS 規格に準拠した壁掛け用ブラケットで支持されることを想定しています。
- ドアなどの障害物がぶつかる可能性がある場所へ設置しないでください。

NOTE

万一壁掛けブラケットやスタンドなどへの設置に関する事故が発生した場合、当社はいかなる責任や補償を負いません。

前後の設置角度に関して

設置時に、製品を垂直に設置するようにしてください。傾いて設置した場合、ガラス部品の脱落や破損などの原因となり、大変危険です。

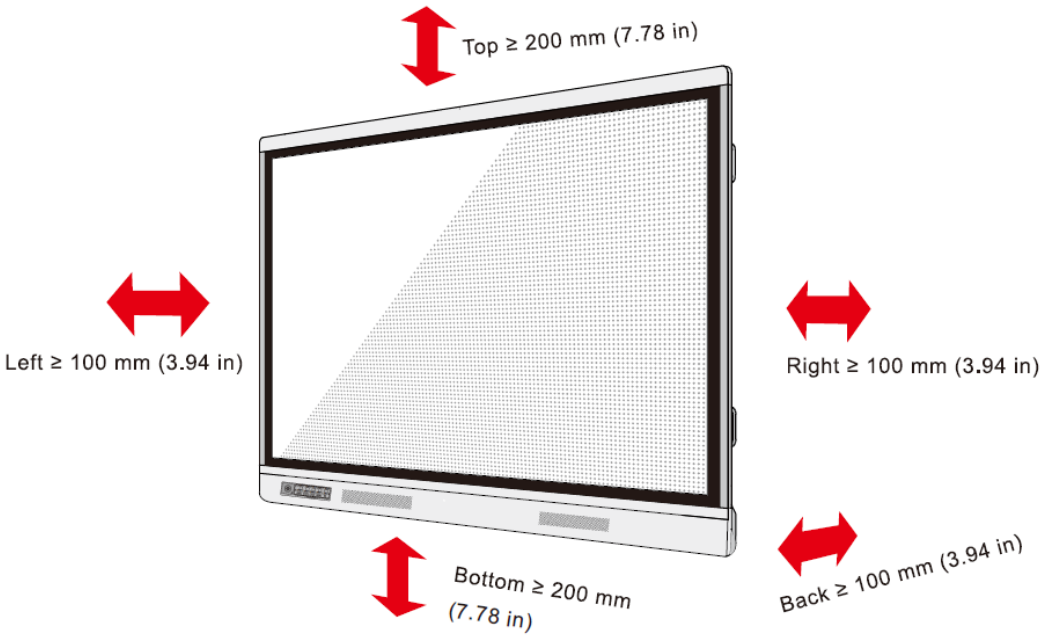


NOTE

問題が発生した場合は、当社のサポートデスクへお問い合わせください。当社はインストラクションを守らずに発生した事故や損害に関して、いかなる責任や補償を負いません。

ベンチレーション

通気や空調が十分にされる場所へ設置してください。設置場所の壁などとの間に十分な距離を保つことを推奨いたします。図に示したスペースが空いていることをご確認ください。



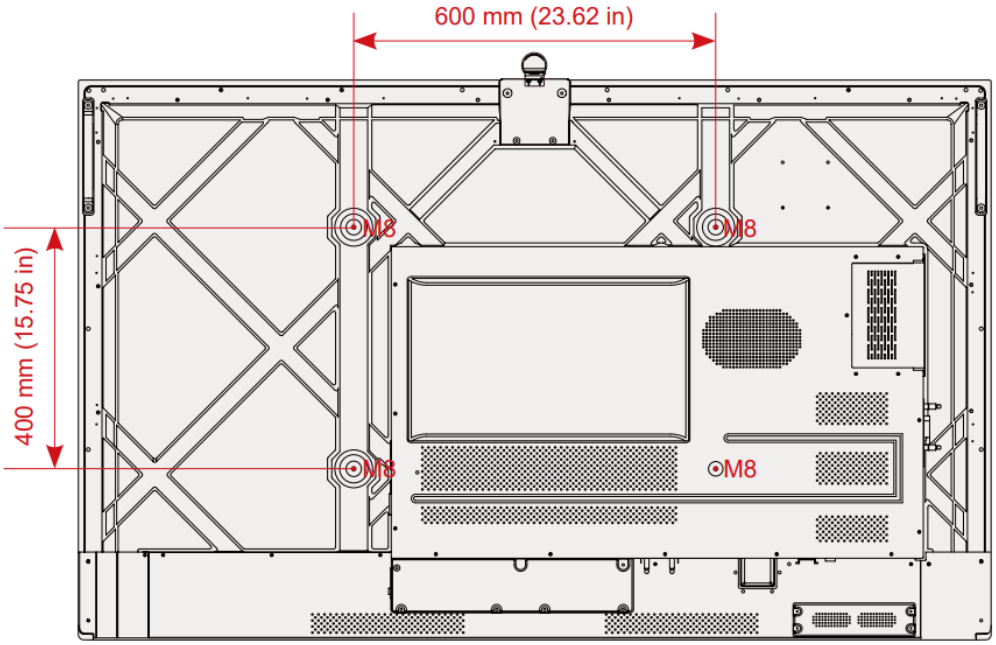
2.3 設置

背面の 4 つのマウント取り付け穴は VESA MIS-F に準拠しており、それぞれ 86 インチおよび 75 インチは 800 x 400 mm、65 インチは 600 x 400 mm 長さ 10ｍｍ～15ｍｍの M8 のネジにてタッチスクリーンをマウントにしっかりと固定してください。背面の各部寸法は下図の通りとなっております。

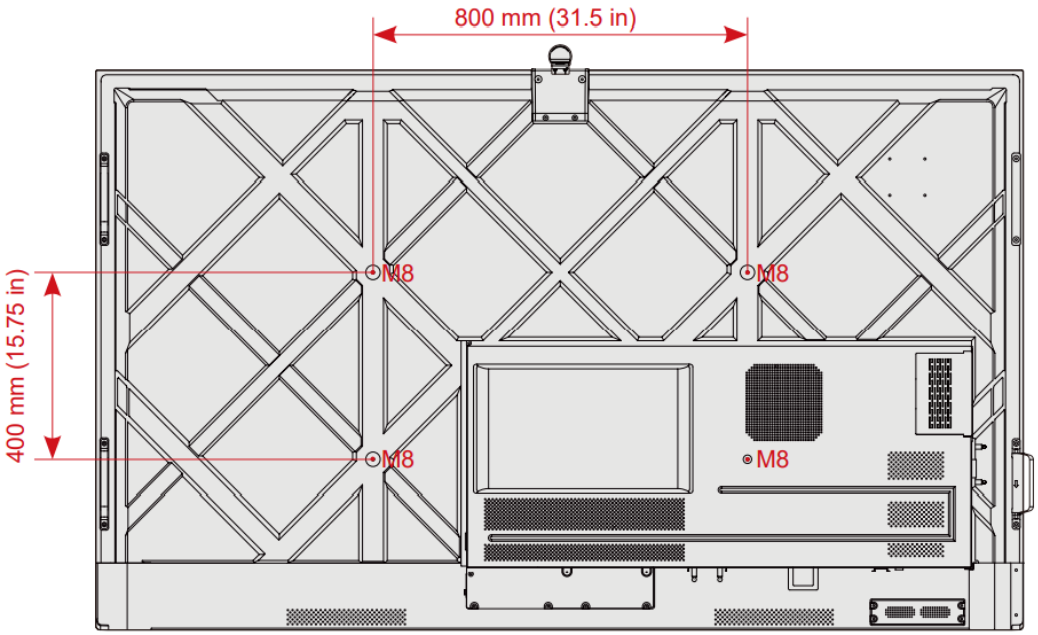
NOTE

取り付けは必ず専門業者で行ってください。

＜65 インチ＞



＜75 インチ/86 インチ＞



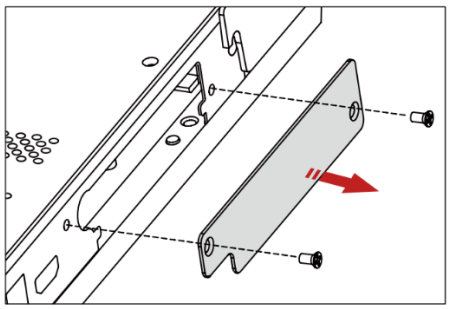
2.4 Wi-Fi モジュールの取り付け

CAUTION

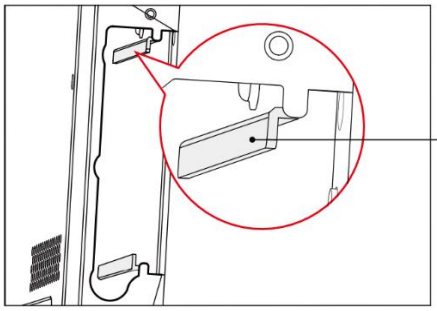
Wi-Fi モジュールは、ホットプラグには対応していません。そのため、Wi-Fi モジュールの抜き差しは、ディスプレイ電源がオフの時に行う必要があります。電源オン時に行うと、パネルディスプレイや Wi-Fi モジュールが破損する可能性があります。

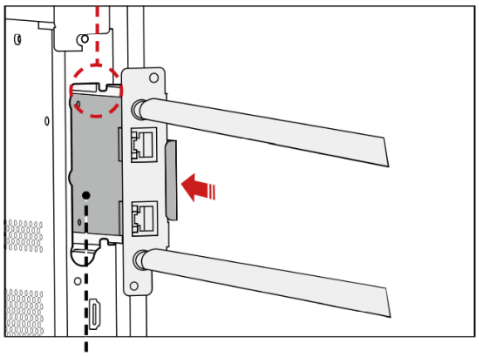
Wi-Fi モジュールは個別のアクセサリボックスに入っていますので、以下の手順を参照してパネルに取り付けてください。

Step 1 Wi-Fi モジュールポートのネジ 2 本を外し、保護カバーを取り外します。



Step 2 Wi-Fi モジュールをパネル背面のポートにしっかりと固定されるまで挿入し、2 本のネジで固定します。

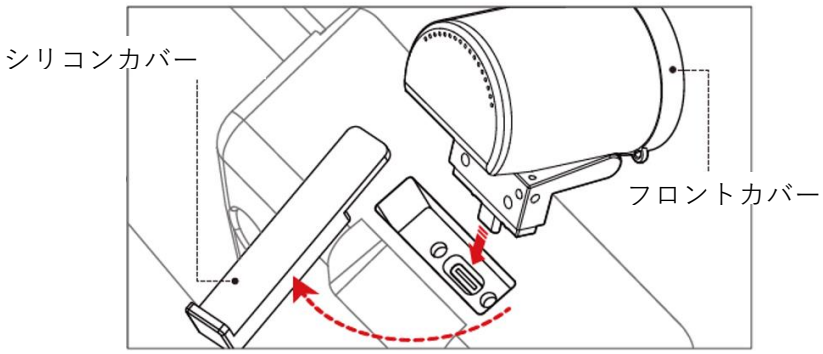




2.5 カメラモジュールの取り付け

カメラはアクセサリーボックスに入っています。以下の手順でパネルに取り付けて、カメラに付属している 2 本のネジで固定します。

パネルディスプレイ上部の中央ポートからシリコンカバーを取り外し、カメラを挿入します。固定用ネジ（2 本）を取り付けて固定してください。前面カバーを取り外して、ご使用ください。



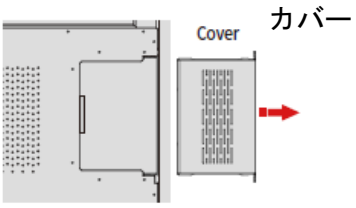
2.6 内蔵パソコン（OPS）のインストール

CAUTION

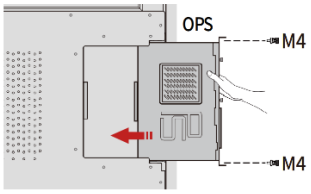
内蔵パソコン（OPS）はホットプラグには対応していません。タッチスクリーン本体の電源が完全にオフになっている状態で内蔵パソコンを接続または取り外してください。

内蔵 PC は標準搭載品となっております。以下のステップにて内蔵パソコンのインストールを行ってください。

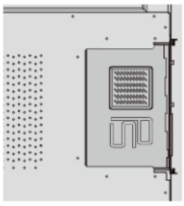
Step 1 本体背面側部にある内蔵 PC スロットの保護カバーを固定している M4 のネジを手で外してください。



Step 2 内蔵 PC を内蔵 PC 用スロットへ挿入し、M4 ネジを使用して内蔵パソコンをタッチスクリーンに固定してください。



OPS にアンテナが付属している場合、アンテナを取り付けてください。アンテナ取り付け後、電源投入前に、再度取り付け状態を確認してください。



2.7 SDM-S の取り付け（SDM-S はオプション購入品）

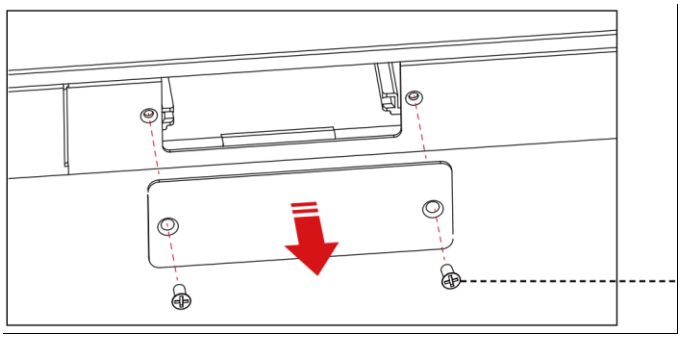
CAUTION

SDM-S はホットプラグに対応していません。

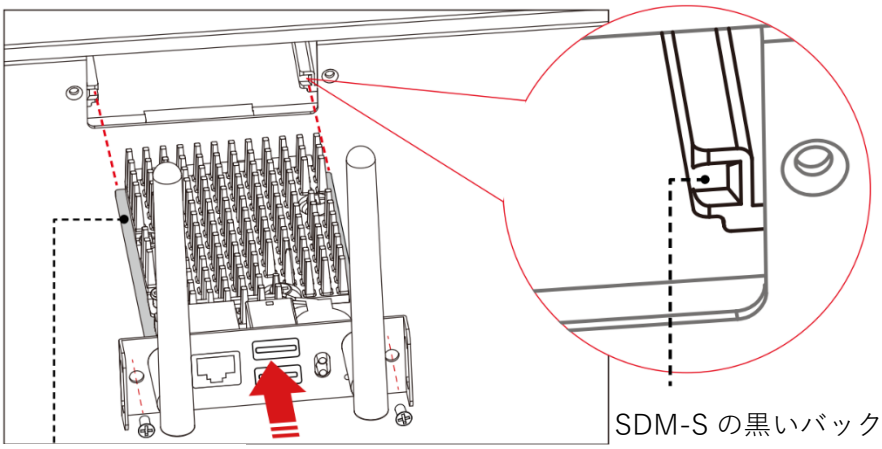
タッチスクリーン本体の電源が完全にオフになっている状態で内蔵パソコンを接続または取り外してください。

現在 SDM-S の提供は行っておりませんが、使用する SDM-S がある場合は以下の手順を参考にインストールしてください。

Step 1 本体下部にある内蔵 PC スロットの保護カバーを固定しているネジを取り外します。



Step 2 SDM-S を SDM-S 用スロットへ挿入し、2 本のネジで SDM-S をタッチスクリーンに固定します。



SDM-S モジュールを挿入してください。

NOTE

設置前に、SDM-S を取り付けてください。

3 製品を使用する

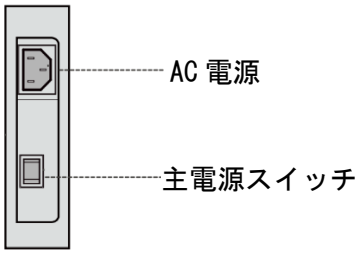
3.1 電源を入れる

Step 1 100V 50/60Hz の AC 電源に本製品を接続してください。プラグをしっかりと根元まで挿入し、必ずアース接続をおこなってください。

NOTE
機器の近くにあるコンセントに接続してください。

Step 2 下図が示す AC 電源の隣にある主電源スイッチを入れて電源をオンにしてください。

＜65 インチ / 75 インチ / 86 インチ＞



Step 3 フロントの電源ボタンまたはリモコンの電源ボタンを押してください。

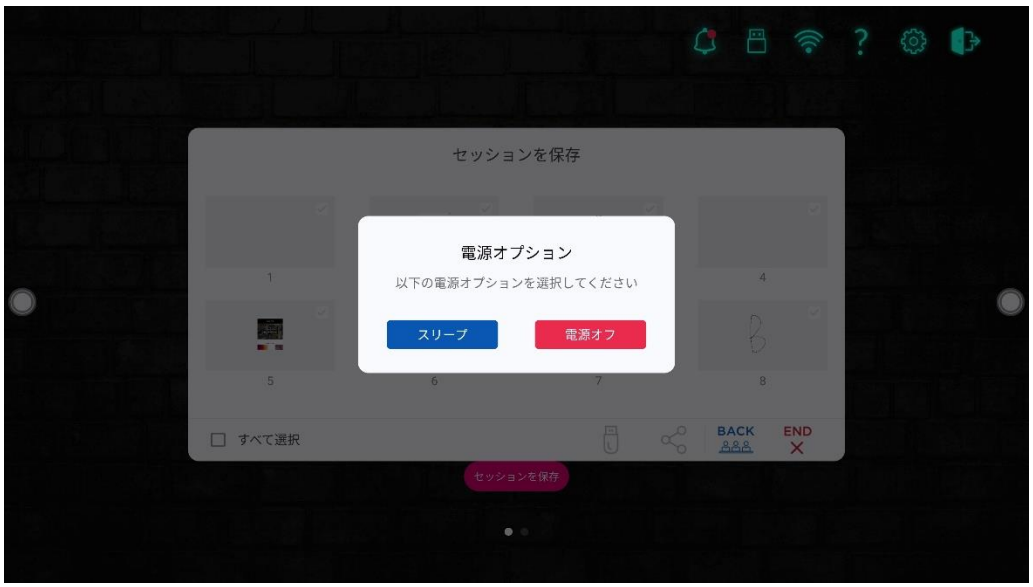
3.2 電源を切る

Step 1 フロントの電源ボタンまたはリモコンの電源ボタンを押してください。

Step 2 ①スクリーンショットやホワイトボードのデータがある場合は、下図のような「セッションを保存」が表示されますので、問題ない場合は、「END」を押してください。

「セッションを保存」ページでドキュメントを選択し、アイコンをタップすると、セッションを USB フラッシュデバイスに保存することができます。アイコンをタップすると、その他の保存方法が選択できます。

Step 3 ①「電源オプション」のポップアップが表示されますので、「電源オフ」を押してください。



Step 2 ②スクリーンショットやホワイトボードのデータがない場合は、ポップアップが表示されますので、「電源を切る」を押してください。

Step 3 ②「OPS はまだ実行中です。それでもシャットダウンする必要がありますか？」と表示されるので、「OK」を押してください。

NOTE

タッチスクリーン電源を切る前に、必ずセッションのドキュメントを保存してください。

保存しなかった場合、セッションドキュメントが削除されます。

Step 4 完全に電源を切る場合は、背面の主電源スイッチを切り、電源コードを抜いてください。

NOTE

- パネルディスプレイがスリープモードまたはシャットダウンに入ると、システムは内蔵 PC の電源がオフになっているかどうかを判断します。内蔵 PC の電源が切れていない場合は、電源を切ってからスリープモードまたはシャットダウンに移行します。
- 電源を切るときは、正しくシャットダウンしてから行ってください。誤って電源を落とすと、故障につながる恐れがあります。
- 短時間で電源の ON/OFF を繰り返すと故障の原因となります。

3.3 キャリブレーション

実際にタッチしているポイントと、カーソルの表示箇所がずれている場合、キャリブレーションを行なってください。キャリブレーションは以下の状況にて必要となる場合があります。

- 内蔵 PC を初めて使用する場合
- HDMI や DisplayPort 経由でパソコンを接続した場合

NOTE

内蔵 OS のインターフェース操作時は、位置調整は不要です。Microsoft Windows 7 またはそれ以降のバージョンを搭載する外付け製品を使用した場合は位置調整が必要です。

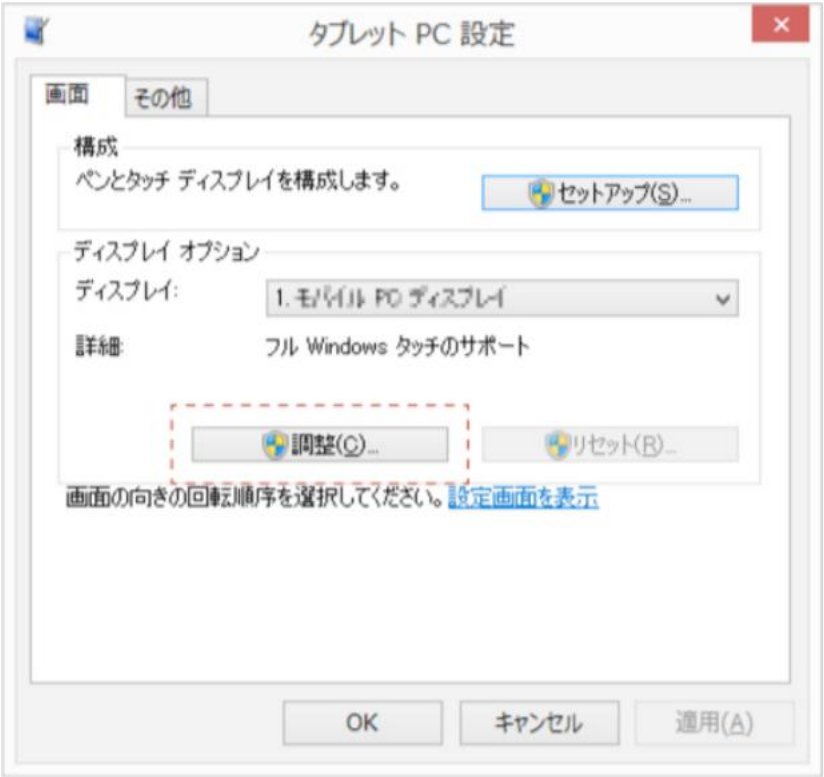
もし、位置がずれている場合、下記をご確認の上、キャリブレーションを行なってください。下記は Windows 10 での手順となります。

Step 1 HDMI や DisplayPort およびタッチポート経由でタッチスクリーンと Windows PC が正しく接続されていることをご確認ください。

Step 2 入力ソースを選択し、対象の Windows PC からの画面を表示してください。

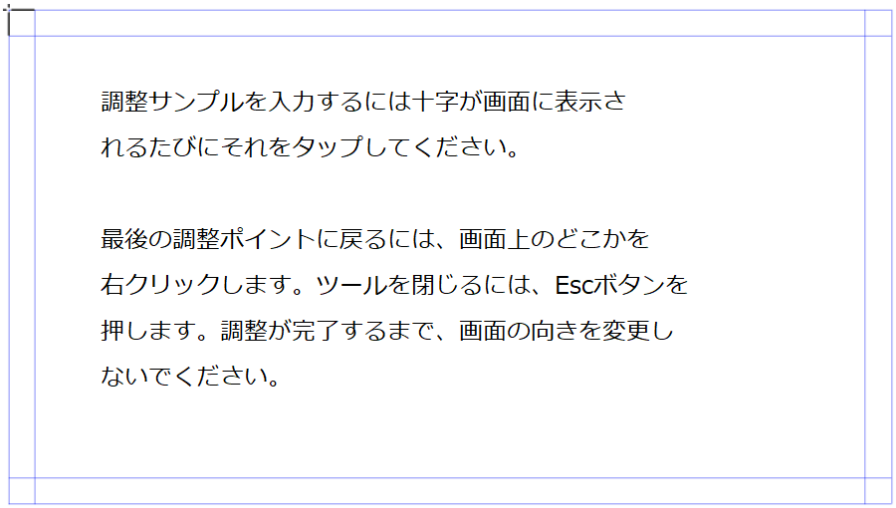
Step 3　対象の Windows PC のコントロールパネルから「タブレット PC 設定」を開いてください。

Step 4　タブレット PC 設定ウィンドウから「調整」[調整(C)...]を選択してください。

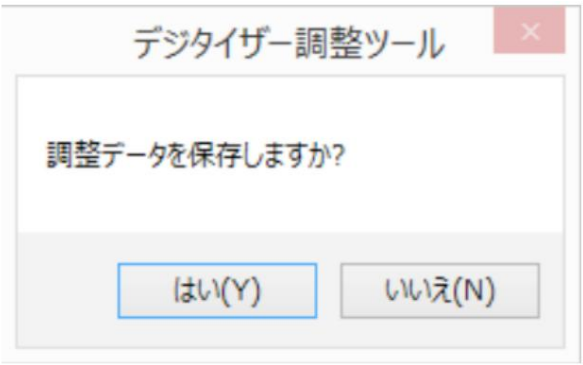


Step 5 タッチ入力をオプションから選択し、キャリブレーションを開始してください。

Step 6 指やペンを使用して、点滅している十字の中央部分をクリックし、次のポジションに移動するまで押し続けてください。インストラクションに従ってキャリブレーションを完了させてください。



Step 7 「はい」を押してキャリブレーションを終了します。



NOTE

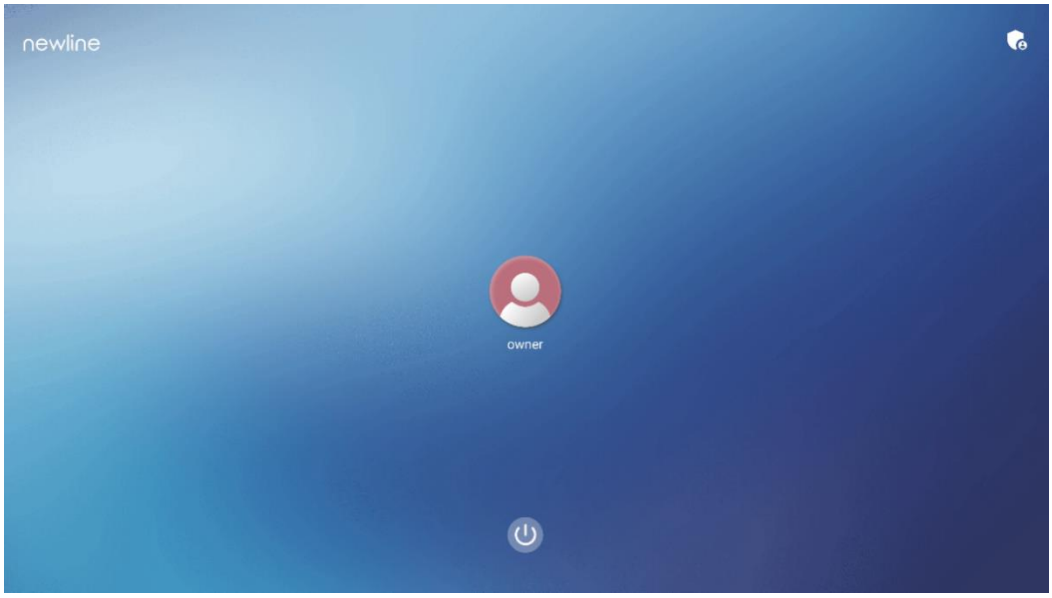
- 手書き精度向上のために、キャリブレーションの際に、付属のペンのご使用をお勧めします。
- キャリブレーションのエラーによりタッチスクリーンが正常に作動しない場合、再度キャリブレーションを行なってください。

Step 8 再びタブレット PC 設定のダイアログボックスが表示されます。「OK」を押してキャリブレーションを完了します。

4 タッチスクリーンの操作

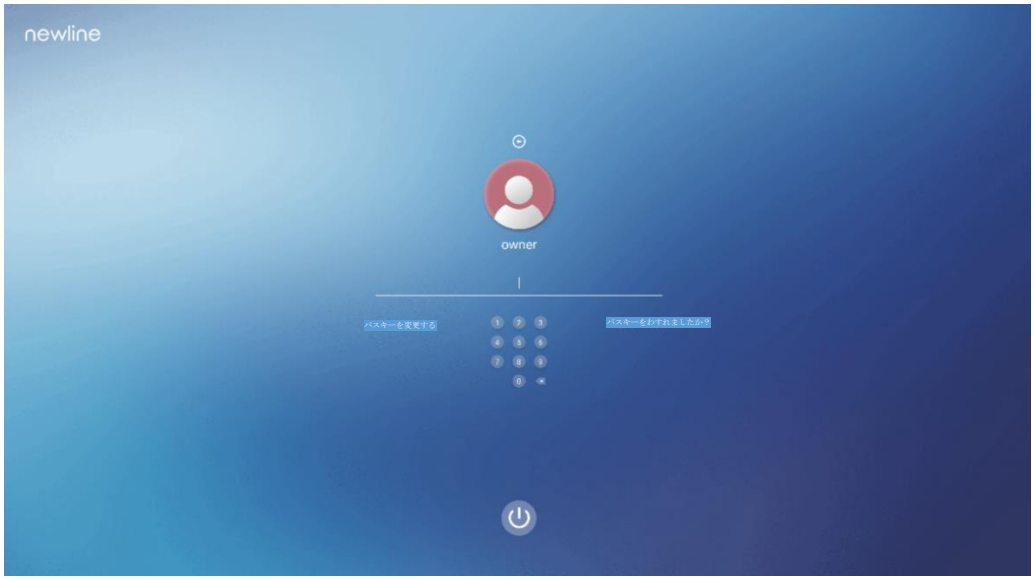
4.1 ログオン画面

パネルに電源を入れると、下図のように登録されたすべてのアカウントが表示されます。



アイコンをタップして、初回操作時に設定した 6 桁のパスキーを入力すると、ログインすることができます。

アイコンをタップすると、前のページに戻ります。[パスキーの変更]をタップすると、パスキーを変更できます。アイコンをタップすると、システムを再起動、スリープ、または電源オフ状態にすることができます。

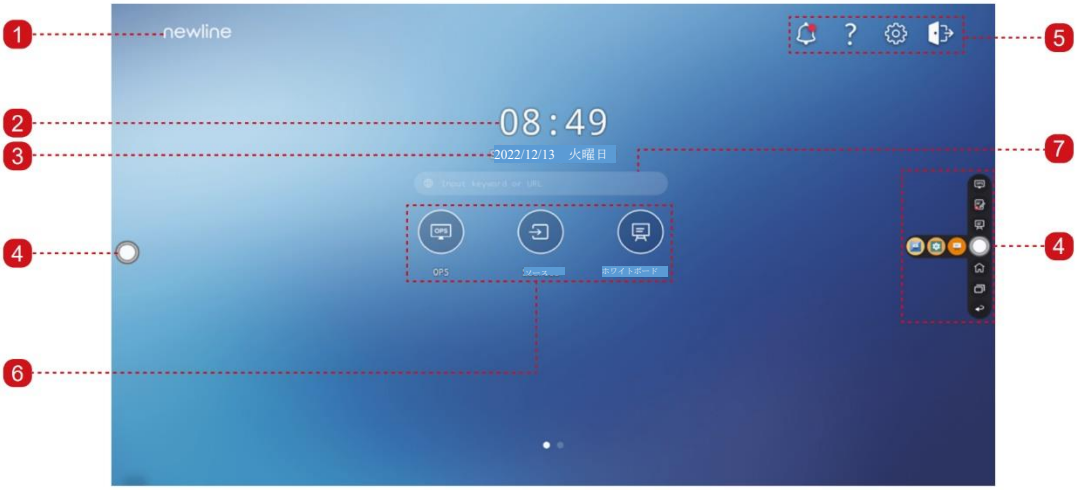


NOTE

- パスキーは 6 桁に制限されており、英字は使用できません。パネルを起動するたびに、パスキーが要求されます。
- パスキーを忘れた場合は、管理者に連絡しパスキーを再設定してください。

4.2 スタート画面

ログオンすると、次の図のようなホーム画面が表示されます。



1: ロゴ（表示＆テーマ設定のショートカット）

2: 時刻（時計アプリのショートカット）

3: 日付/曜日（カレンダーアプリのショートカット）

4:サイドツールバー

5:ステータスと設定

6:メインアイコン

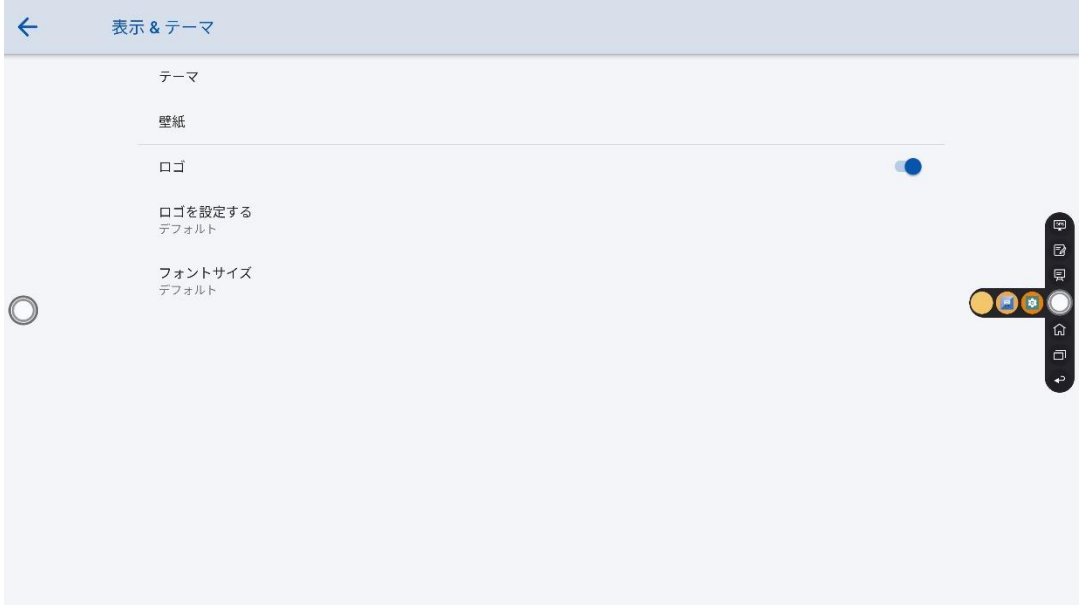
7: 検索バー

NOTE

[ホーム画面] では、右から左にスワイプするとガジェットのインターフェイスに切り替わります。ユーザーは、左右にスライドすることで、ホームとガジェットのインターフェイスを切り替えることができます。

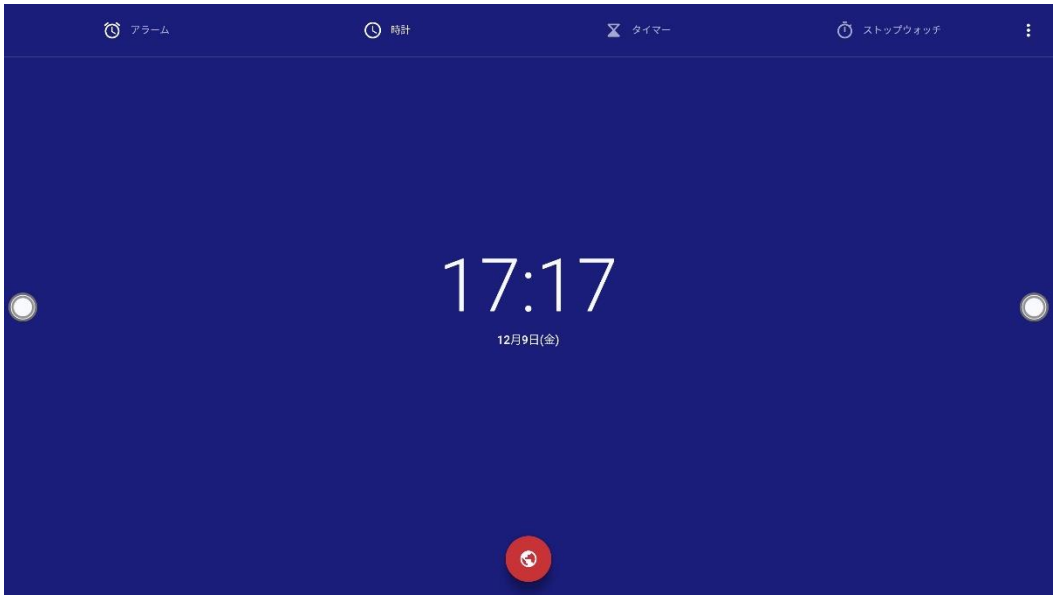
・ロゴと壁紙設定のショートカット

ホーム画面上のロゴnewlineは表示＆テーマ設定へのショートカットになっており、ロゴや壁紙を変更することができます。下図のように USB フラッシュメモリーやローカルフォルダーに保存されたデータを選択して変更することができます。



時計のショートカット

ホーム画面の時刻アイコンをタップすると、時計アプリが起動します。上部のアイコンを使って、時計モード、アラームモード、タイマーとストップウォッチモードに切り替えることができます。時計モードでは、をタップすることで、他のタイムゾーンを追加することができます。



主なアイコン

※実際のアイコンと表示が異なる可能性がございます。

アイコン	機能
	内蔵パソコンへ信号源を切り替えます。
	「ソース」をタップすると、内蔵 PC、HDMI 1、HDMI 2、DisplayPort、前面 HDMI、VGA などの信号源のプレビュー画面を確認したり、画面を外部信号源に切り替えたりすることができます。
	「ホワイトボード」をタップすると、ホワイトボードに切り替えます。
	「Newline Cast」をタップすると、ワイヤレス画面投影アプリが起動します。
	「File Commander」をタップすると、ファイルビューアーが起動し、接続した USB フラッシュ内のデータなどを閲覧することができます。
	「OfficeSuite」をタップすると、Office ビューアを開きます。

アイコン	機能
	HDMI 1 へ信号源を切り替えます。
	HDMI 2 へ信号源を切り替えます。
	HDMI 3 へ信号源を切り替えます。
	DisplayPort へ信号源を切り替えます。
	Type-C へ信号源を切り替えます。
	SDM へ信号源を切り替えます。
	メインアイコンの追加と削除のページに移行し、最大 6 つまで外部信号源や Windows ソフトウェア、ガジェットのアイコンをホーム画面に追加することができます。 (詳細は、5.1.ホーム画面へのショートカットの追加と削除を参照してください)

NOTE

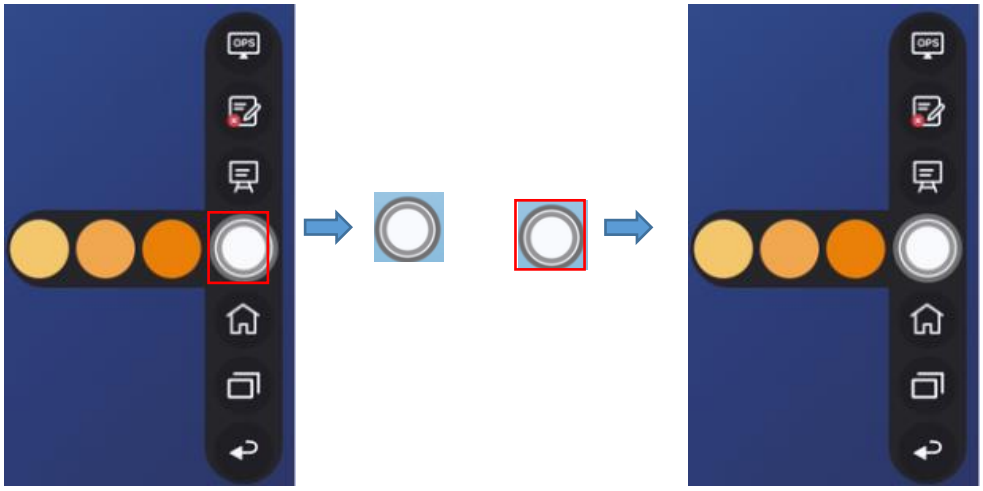
ユーザーは必要に応じてメインアイコンを追加または削除できます。詳細は 5.1 ホーム画面へのショートカットの追加と削除を参照してください。

サイドツールバー

OPS、手書きモード、ホワイトボード、ホーム画面、タスクマネージャー、および戻るアイコンは、画面の両側のサイドバーにデフォルトで表示されます。ユーザーは「**設定**」>「**ツールバー**」と移行してサイドバーのアイコンをカスタマイズできます。

設定でサイドバーを非表示にしたり、画面上で移動したり、タッチジェスチャーで縮小・拡大したりすることができます

縮小　　拡大



ツールバー ＞ フローティングバー：

ツールバーを押しながらドラッグすると、サイドバーをフローティングバーとして使うことができます。

フローティング バーでは、ユーザーはアイコンの追加と削除、カスタム アイコンの追加、フローティング バーを指でドラッグして画面内を移動できます。フローティングバーを画面の外に移動して、フローティングモードを終了できます。

サイドバーの機能は次のとおりです。

アイコン	機能
	内蔵パソコンへ信号源を切り替えます。
	手書きモードに入り、もう一度クリックすると手書きモードを終了し、スクリーンショットを撮ることができます。
	ホワイトボードに切り替えます。
	ホーム画面へ移動します。
	現在起動しているアプリを一覧で表示します。 現在起動しているアプリを左右にスライドさせるか、右上の「すべてクリア」をクリックすると、すべてのアプリがクリアされます。
	一つ前の画面に戻るか、アプリを終了します。

ステータスバーと設定

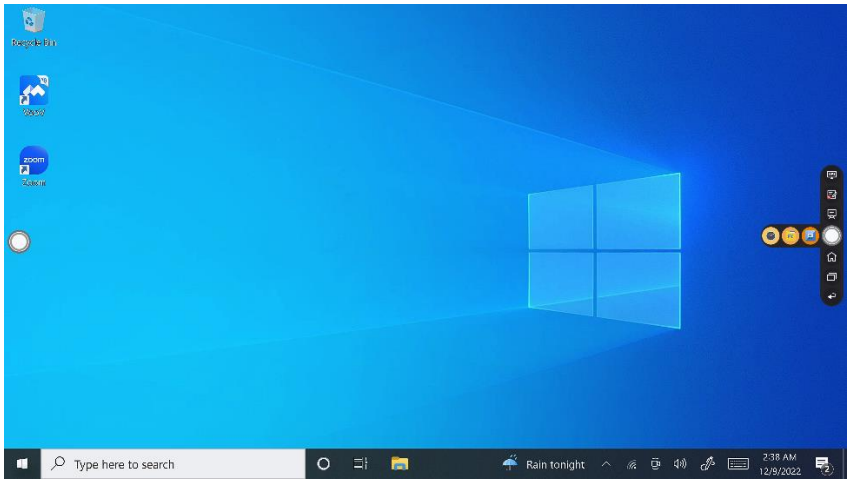
ホームページの右上隅には、動作ステータスアイコン(USB ドライブ、イーサネット、Wi-Fi を含む)、通知、チュートリアル、システム設定のショートカット、ログアウトアイコンが表示されます。

アイコン	機能
	クリックして通知画面に移行します（新しい通知がある場合は、赤い点が表示されます)。
	USB フラッシュメモリーが USB ポートに接続されていると、このアイコンが点灯します。
	タッチスクリーンがイーサネットに接続されていると、このアイコンが点灯します。
	タッチスクリーンが Wi-Fi ネットワークに接続されていると、このアイコンが点灯します。
?	チュートリアル画面に移行します。
	クリックすると、各種設定画面に移行します。

アイコン	機能
	ログオン画面に戻ります。

4.3 内蔵 PC(OPS)

ホーム画面で内蔵 PC(OPS)をタップすると、下図のように OPS の信号源に切り替えることができます。内蔵 PC(OPS)が搭載されていない場合「信号なし」と表示されます。



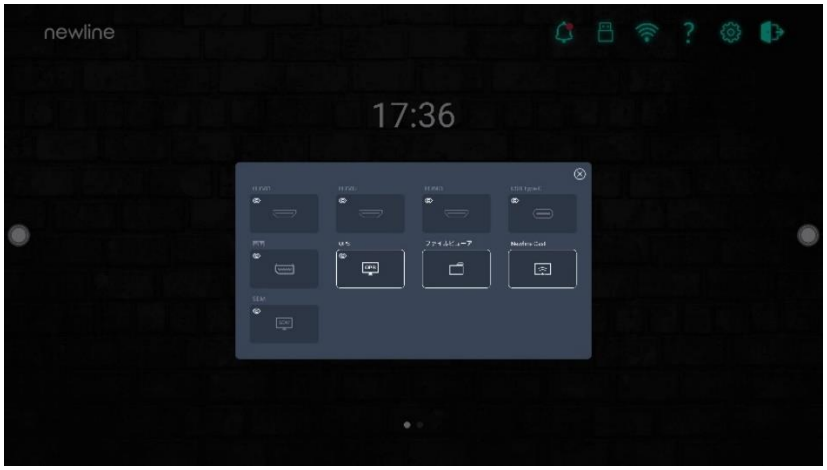
4.4 信号源

ホーム画面で、をタップして、HDMI 1、HDMI 2、HDMI 3、Type-C、DisplayPort、OPS、SDM などの信号源の選択に切り替えることができます。

信号源が接続されていないアイコンは灰色、信号源が接続されているアイコンは白色で表示されます。

信号源は、以下の方法で確認できます。

- ホーム画面のアイコンをタップします。
- クイックアイコンのアイコンをタップします。
- リモコンのアイコンをタップします。



4.5 ホワイトボード

ホワイトボードには以下の機能が備わっています。

- **ディスカッション及びスクリーンへの手書き挿入モード**

  ホワイトボードのページでは、ペンのタイプの選択、色や太さの選択や、スクリーンへの手書きを行うことが可能です。書いた文字などの削除、全削除を行うことも可能です。

- **ページナビゲーション**

  ページのプレビューや削除ができます。

- **パームリジェクション**

  パームリジェクションをオンにすると、指やペンで文字や絵を書くことはできますが、手のひらやこぶしは認識されなくなります。

- **パームイレーサー**

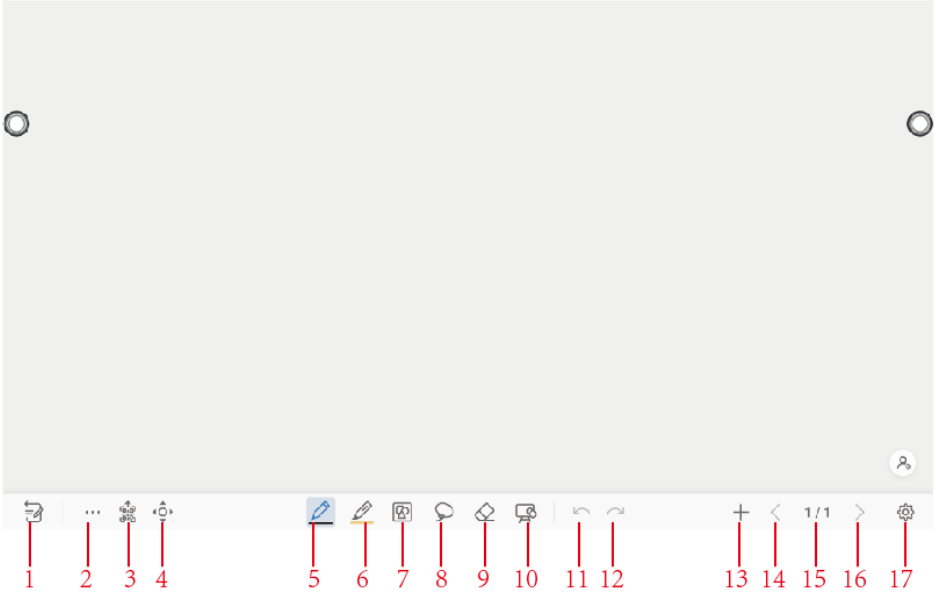
  パームイレーサーをオンにすると、指やペンも認識し、手のひらやこぶしが大きな消しゴムとして認識されます。

NOTE

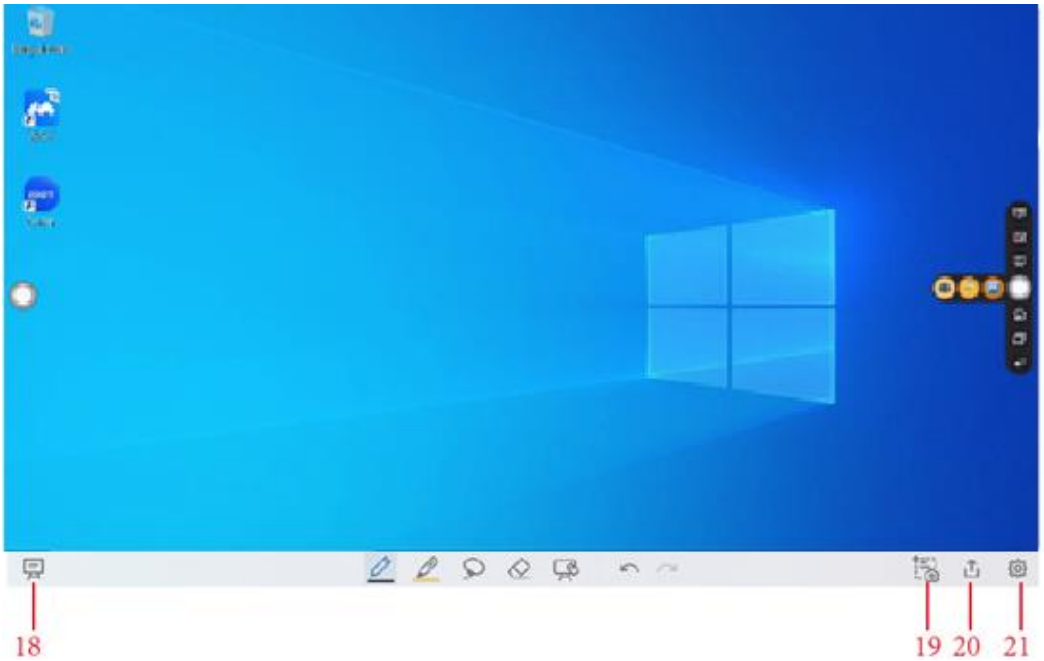
パームリジェクションとパームイレーサー機能は、ホワイトボードと手書きモードで使用でき、設定は連動しており、同時にオフにすることはできません。パームリジェクションとパームイレーサー機能は、クイック設定メニューでオン/オフを切り替えることができます。

4.5.1 ホワイトボード

- ホーム画面のホワイトボードアイコンをタップまたは、サイドツールバーのアイコンをクリックすると、以下の図のように内蔵のディスカッションモード（ホワイトボード）に移行します。



サイドツールバーのアイコンまたは、ディスカッションモード左下部分のモード切り替えスイッチアイコンをクリックすると、手書き文字挿入モードに移行します。このモードは画面上に透明レイヤーを作り、手書き文字挿入モードを終了するまで、その上に自由に手書きコメントを挿入することが可能です。



No.	アイコン	機能
1	モード切り替えスイッチ	タップすると手書き挿入モードへ切り替わります。
2	オプション	タップすると、インターフェースが表示され、画像、テキスト、付箋の挿入、画像検索、ウェブ検索などが可能です。
3	エクスポート	作成したページを PNG や PDF 形式で QR コードでの共有や USB メモリーへの保存など行うことができます。
4	キャンバスの移動	タップするとキャンバス移動モードに切り替わり、ページ内で指を押しながら動かすと、キャンバスやコンテンツが移動します。
5	ペン	タップしてペンを選択します。選択されている時にはアイコンは青色に変化します。選択時に再度タップするとペンの色及び太さを設定できます。
6	蛍光ペン	タップして蛍光ペンを選択します。アイコンは青色に変化します。選択時に再度タップすると蛍光ペンの色及び太さを設定できます。
7	オートシェイプ	タップすると、矢印や四角、三角、丸などのオートシェイプを挿入することができます。選択されている時にはアイコンは青色に変化します。
8	選択ツール	ホワイトボードに表示されている内容を選択するのに使用します。選択した内容は移動や縮小／拡大／回転／コピーなどおこなうことができます。 アイコンは青色に変化します。
9	消しゴム	タップして消しゴムを選択します。アイコンは青色に変化します。選択時に再度タップすると消しゴムの消し方を設定することができます。
10	クリア	現在表示されているページ内のすべてのデータを削除します。
11	戻る	ひとつ前の状態に戻ります。
12	進む	戻るを使用して取り消した操作をやり直します。
13	新しいページ	クリックで新しいページを作成します。2 秒以上の長押しで

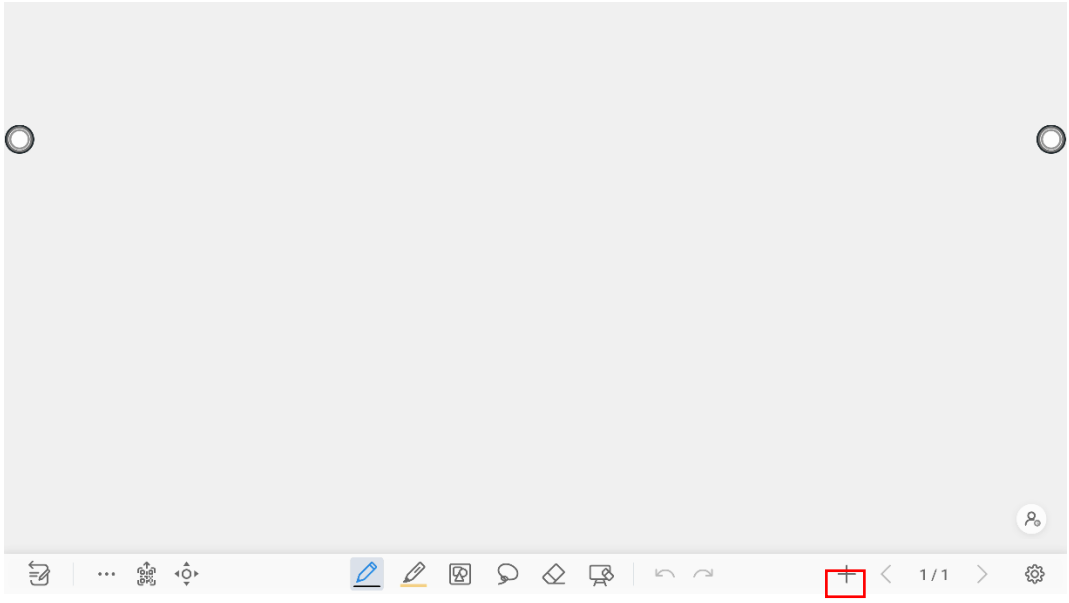
No.	アイコン	機能
		背景色、背景パターンを変更できます。
14	前のページ	一つ前のページを表示します。
15	ナビゲーション	作成したページのサムネイルを表示します。
16	次のページ	次のページを表示します。
17	設定	オブジェクト認識機能のオン/オフ設定の他、アクションヒントのオン/オフ、ペン色や背景などの初期設定を行うことができます。
18	モード切り替えスイッチ	タップしてディスカッションモード（ホワイトボード）へ切り替えます。
19	スクリーンショットの保存	作成した手書きデータを含めたスクリーンショットを保存することができます
20	スクリーンショット	タップすると、スクリーンショットを撮り、File commander > picture > screenshot にします。
21	設定	タップすると、手書きモードの設定を行うことができます。

4.5.2 ホワイトボード機能

新しいページの作成と設定

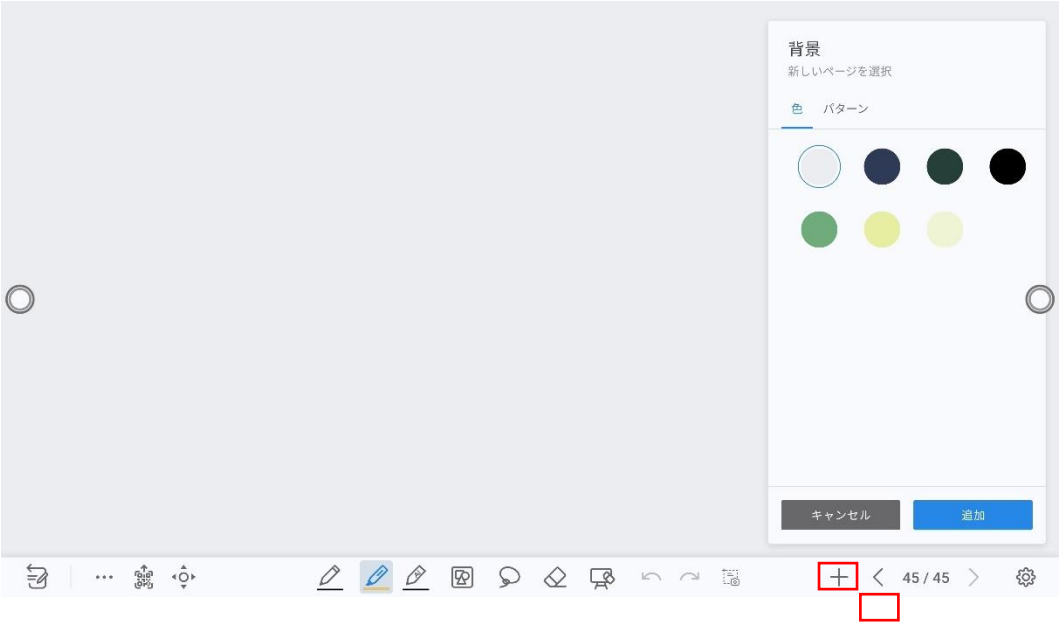
- 新しいページを作成する

  ディスカッションモードで、＋タップすると、新しいページが作成されます。最大 20 ページまで作成することができます。以下の図をご覧ください。


1 / 1

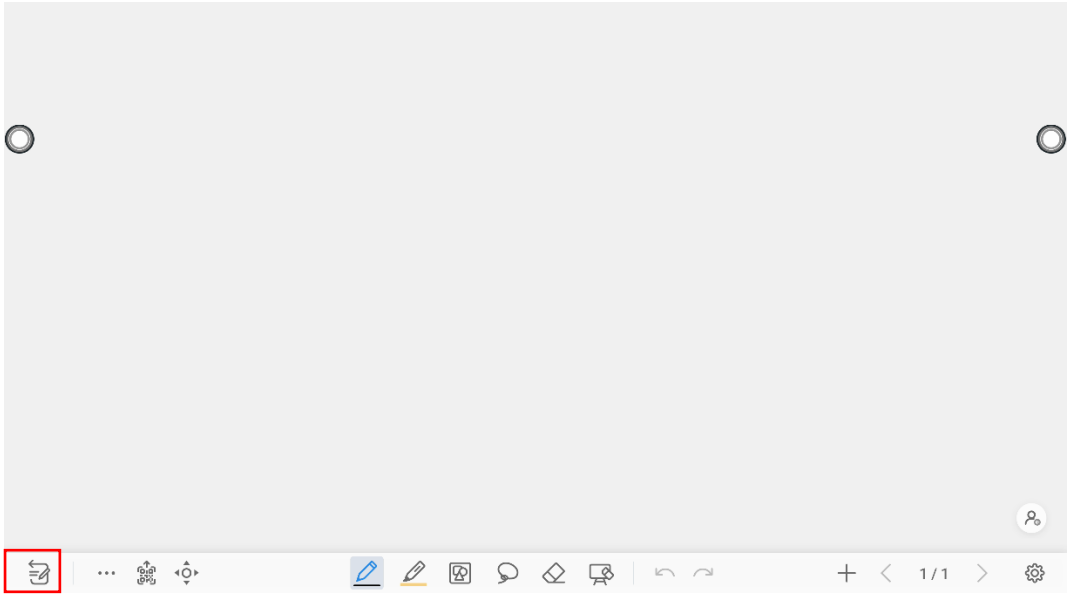
- ページ設定

  アイコン＋を 2 秒以上長押しすると、下図のように作成するページの背景色やパターンの設定を行うことができます。背景は既存のテンプレートの他、画像を選択して使用することもできます。



モードの切り替え

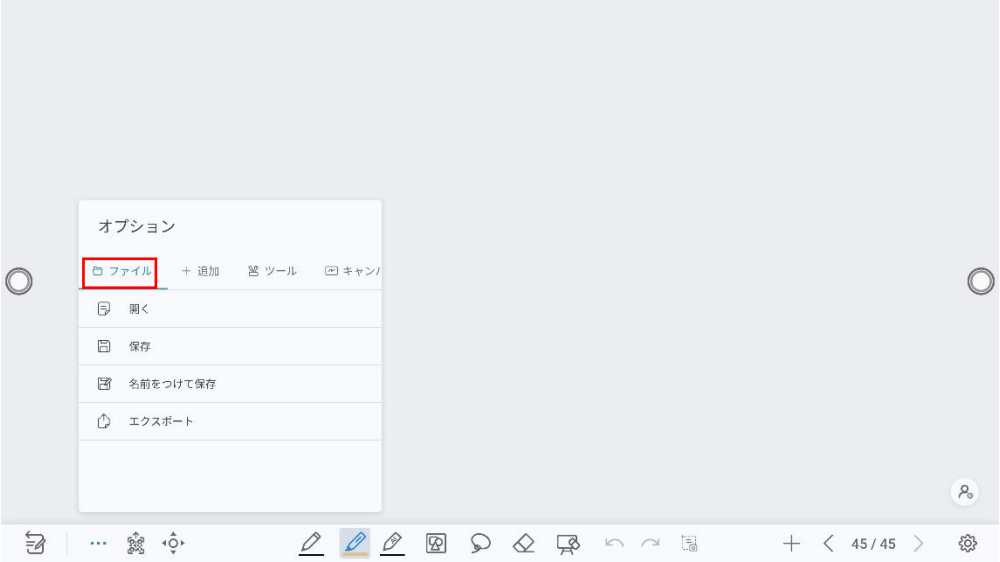
画面左下に表示されているアイコンをタップすると、手書きモードに切り替わります。



オプション

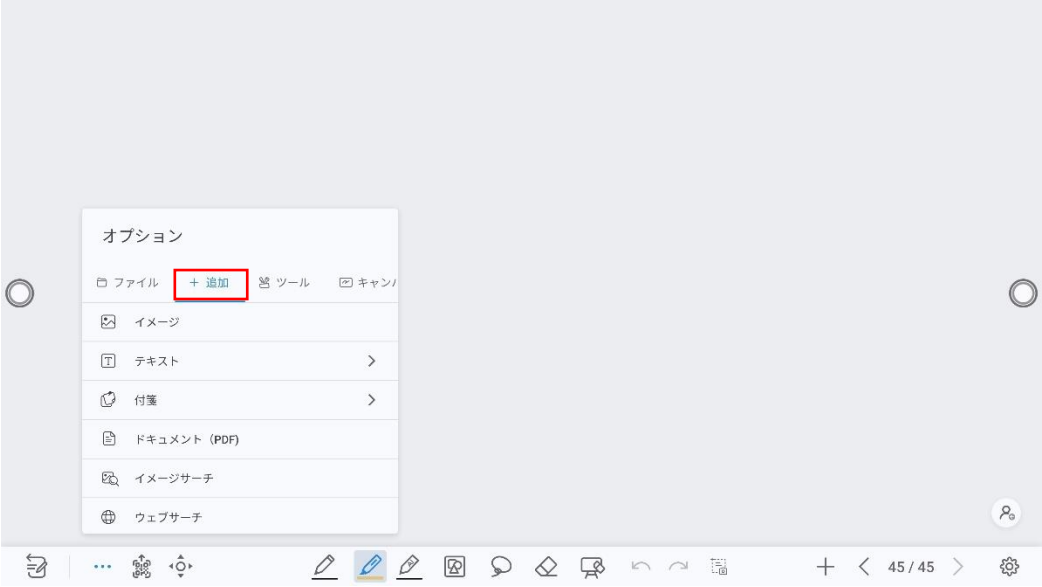
アイコンをタップすると、オプション画面が表示されます。ファイル管理、テキスト、付箋の追加、画像の検索、ウェブ検索などが可能です。

ファイルでは、ファイル管理からのデータのインポート、ホワイトボードファイルの保存、ホワイトボードページのエクスポートができます。

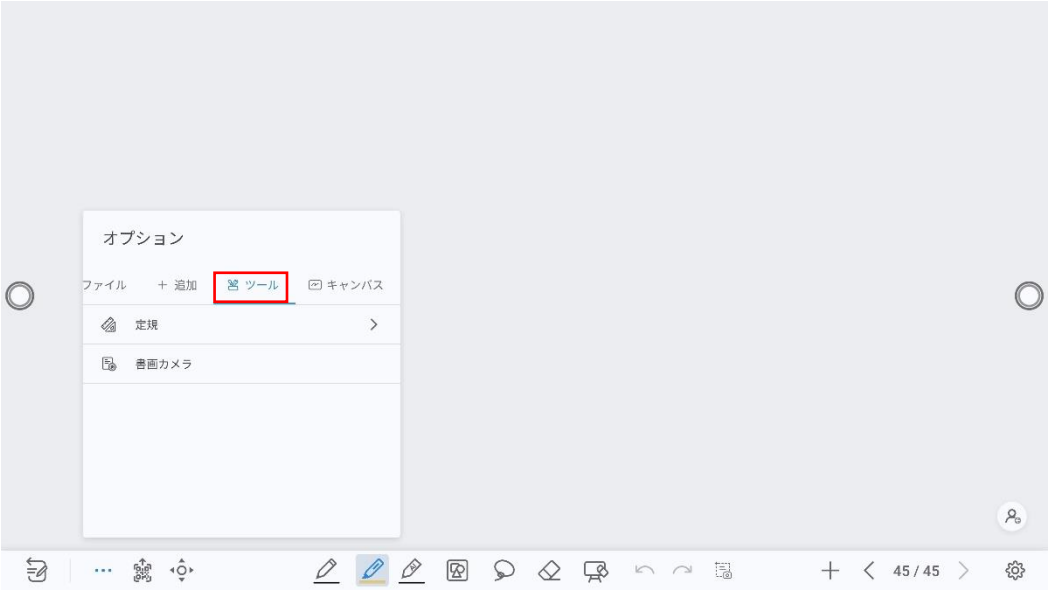


追加では、写真、テキスト、付箋、PDF ドキュメントを挿入できます。

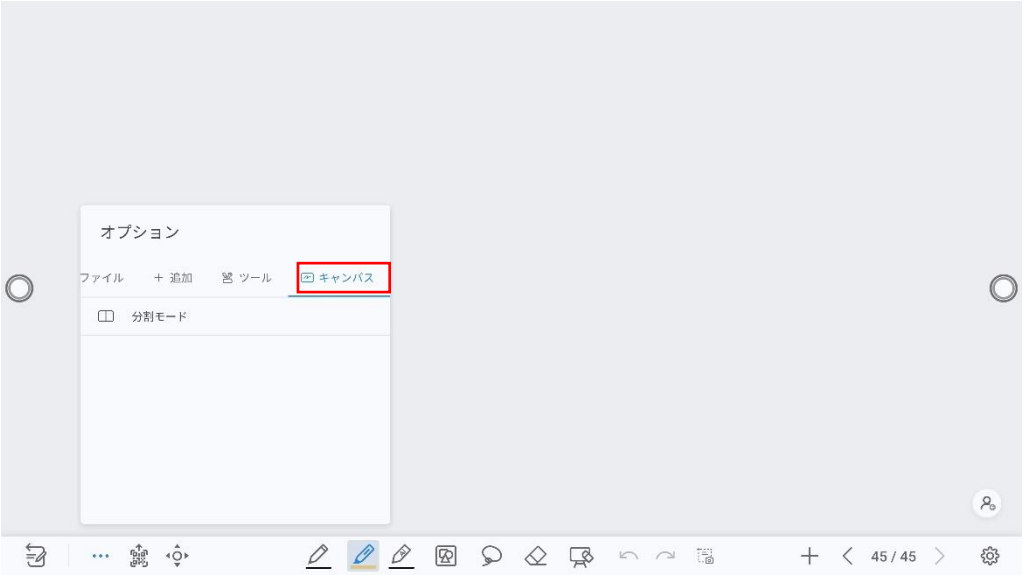
インターネットで画像検索またはウェブで検索した結果を挿入することができます。



ツールでは、定規を使用して線や図形を書いたり、書画カメラの画像を挿入したりすることができます。



キャンパスアイテムでは、分割モードを選択して分割モードを利用できます。



ページをエクスポートする

ホワイトボード時に、タップしてページをエクスポートします。

以下の操作を行うことができます。

・ページの選択：全てのページまたは、選択したページのみをエクスポートすることができます。

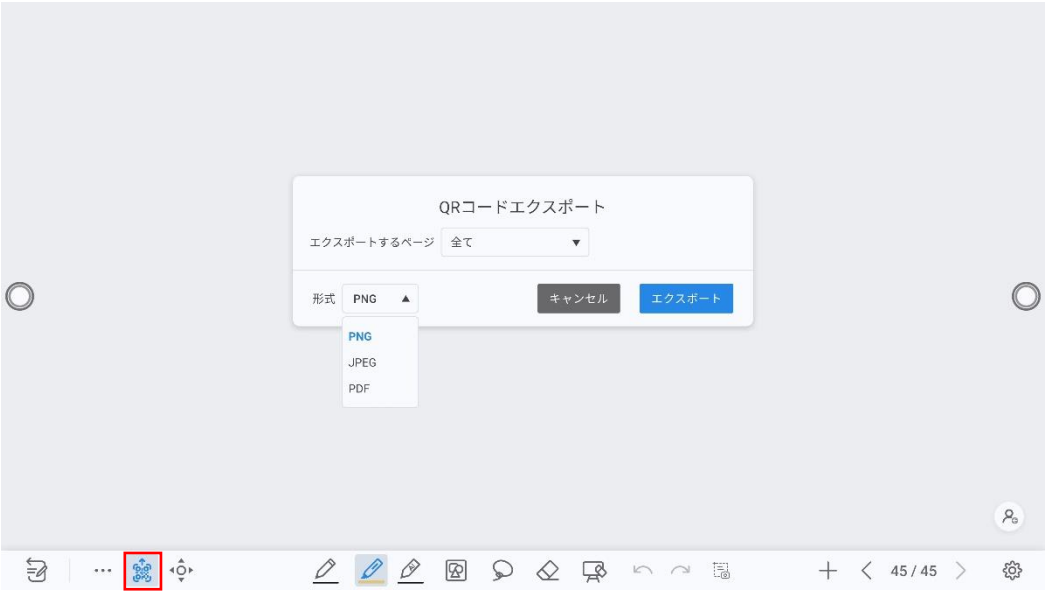
・エクスポート形式の選択：PNG 、JPEG、PDF から選択可能です。

・エクスポートの方法を選択：

QR コードをスキャン：スマートフォンなど、インポートする機器がタッチスクリーンとネットワークに接続されている必要があります。

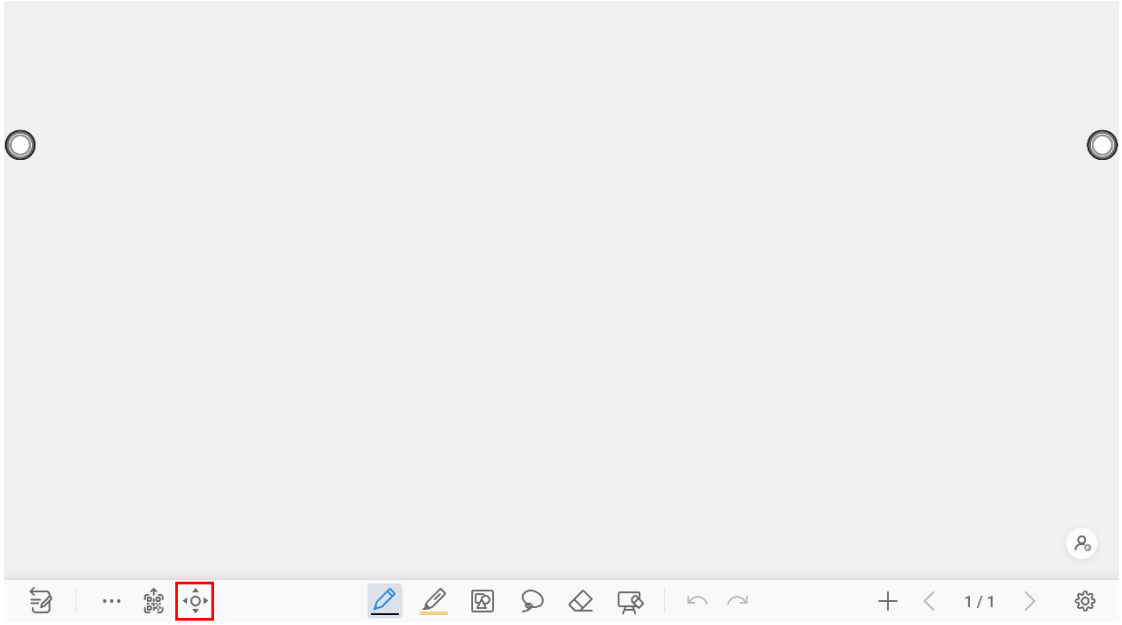
USB フラッシュに保存する：USB フラッシュメモリーに保存

共有：E メールでの送信、クラウドスペースへの保存などを行うことができます。



キャンパスの移動

ホワイトボード上で、アイコンをタップするとキャンバスの移動モードとなり、ページ上で指を動かすと、ページ上のキャンバスを移動することができます。



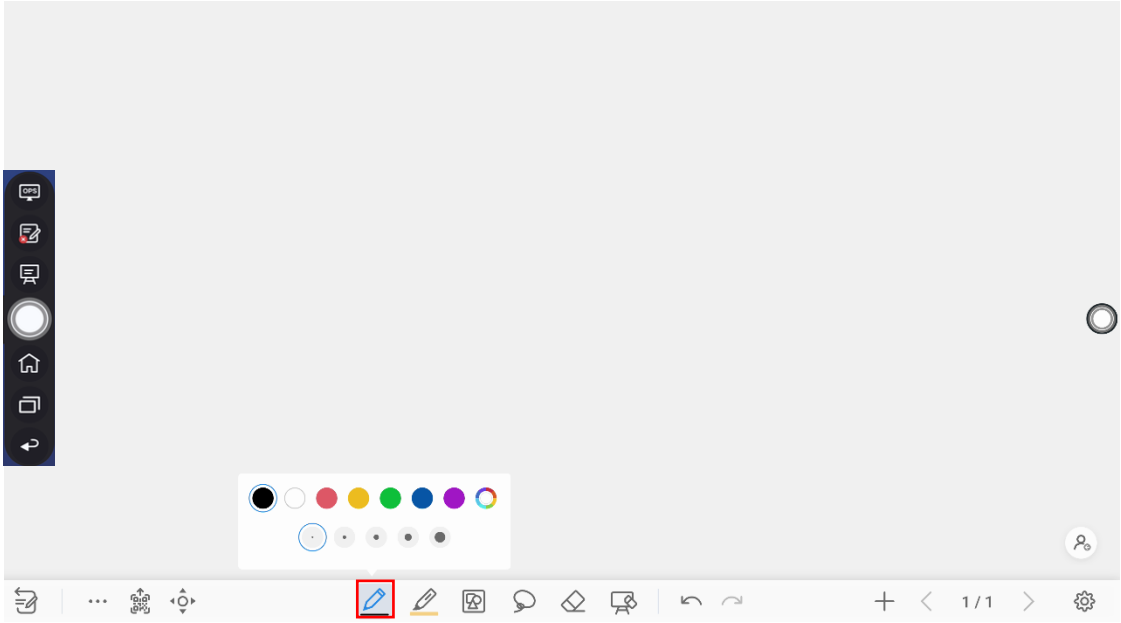
ペンのタイプ

ホワイトボードでは、ペンと蛍光ペンの 2 種類が用意されています。

- ペン :文字などの書き込みに使用します。
- 蛍光ペン 半透明で、アンダーラインでの強調などに使用します。

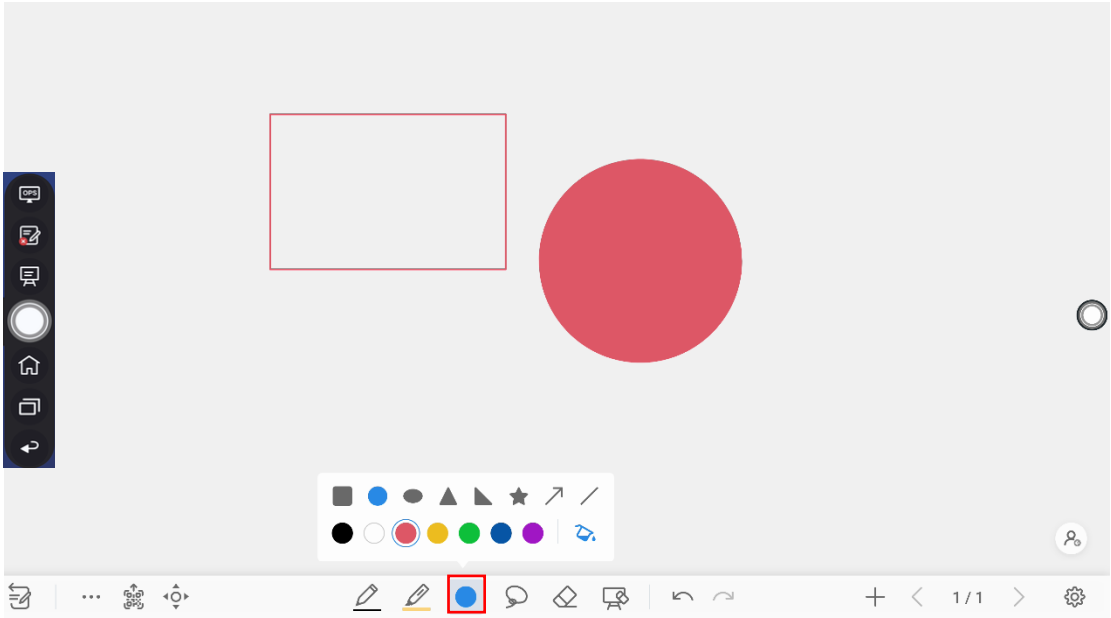
線の太さと色

ホワイトボードにて また は選択された状態で再度タップすると、下図のように線の太さや色の設定を変更することができます。



オートシェイプを挿入する

ホワイトボード時にオートシェイプアイコン タップすると、下図のようにキーボードが出現し、現在表示されているページに、様々なオートシェイプを挿入することができます。

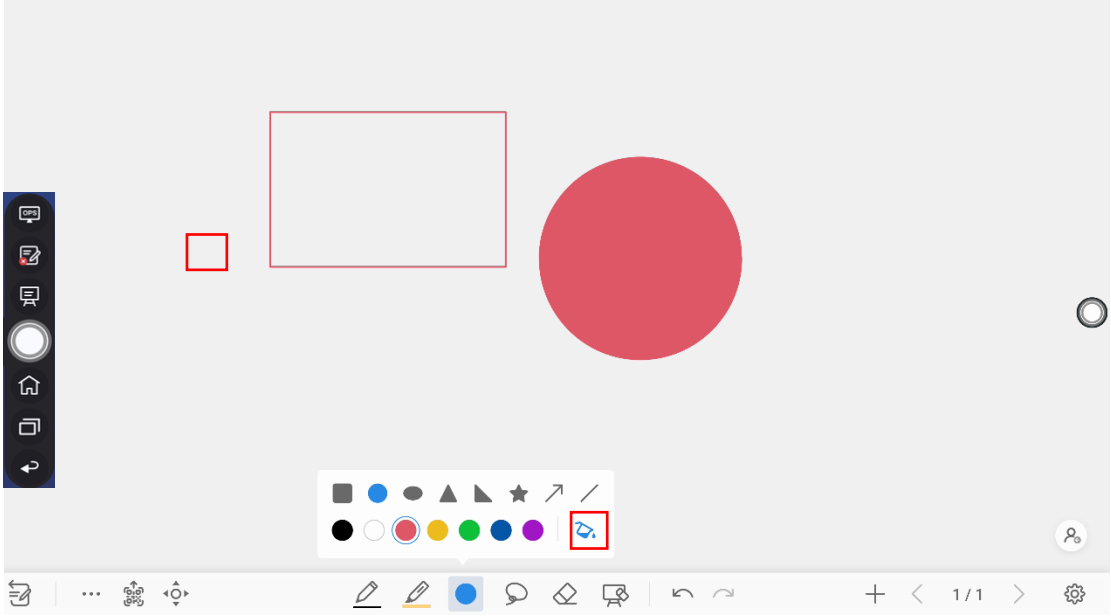


アイコンは、次の 3 つのステータスに分けられています。

グレーアウト: 矢印や直線を挿入すると、アイコンがグレーとなり、選択できなくなります。

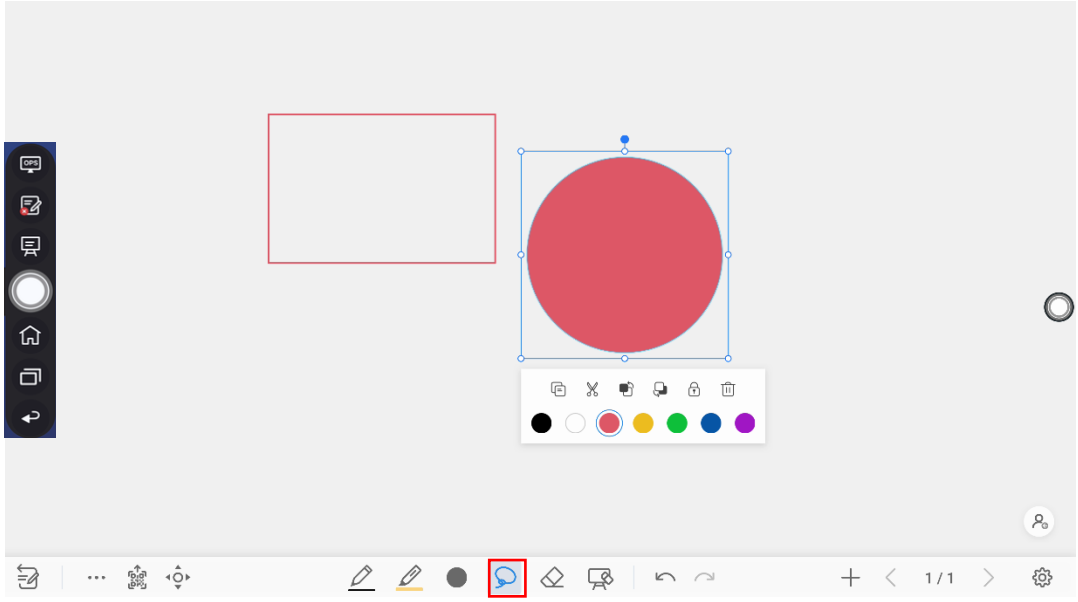
非選択: アイコンが選択されていないとき、図形の枠のみ色付けされます。

選択中: アイコンが選択されているとき、図形が塗りつぶし状態となります。

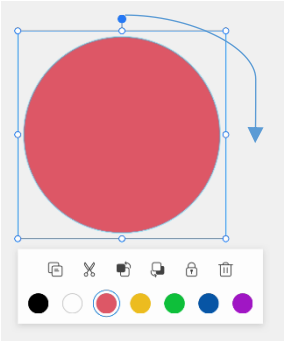


オブジェクトを選択する

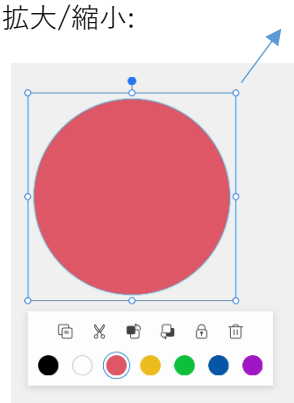
ホワイトボード時に タップし、画面上の移動したいオブジェクトをタップ、または移動したい複数のオブジェクトを囲むと、下図のようにオブジェクトを選択し、動、拡大、縮小、回転、コピー、カット、前に移動、後ろに移動、ロック、色の変更、トリミング、削除を行うことができます。



回転:



拡大/縮小:



選択したオブジェクトに対する操作方法は以下の通りです。

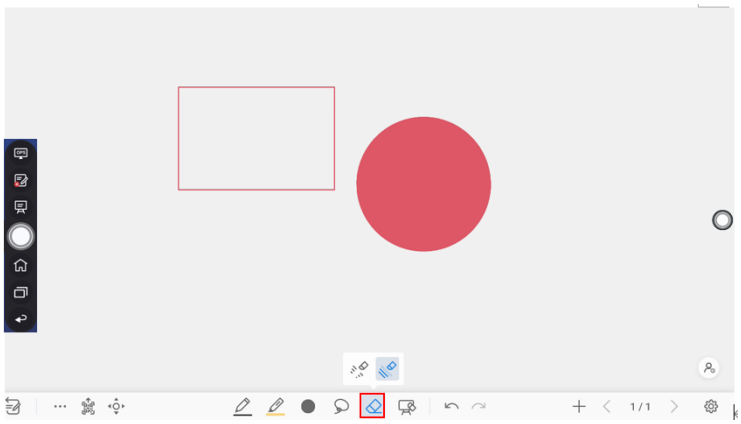
アイコン	機能
	アイコンをホールドしたまま回転します。

	選択したオブジェクトをコピーします。
	選択したオブジェクトをカット(切り取り)します。
	選択したオブジェクトの前後の順番を一つ前に移動します。
	選択したオブジェクトの前後の順番を一つ後ろに移動します。
	選択したオブジェクトをロックします。
	選択したオブジェクトを削除します。
	貼り付けたい任意の場所で長押しすると現れる「貼り付け」アイコンを押して、コピー/カットしたオブジェクトを貼り付けます。 コピー／カットしたオブジェクトは違うページに貼り付けることも可能です。
	選択したオブジェクトのロックを解除します。 （オブジェクトがロックされると表示されます。）

消しゴム

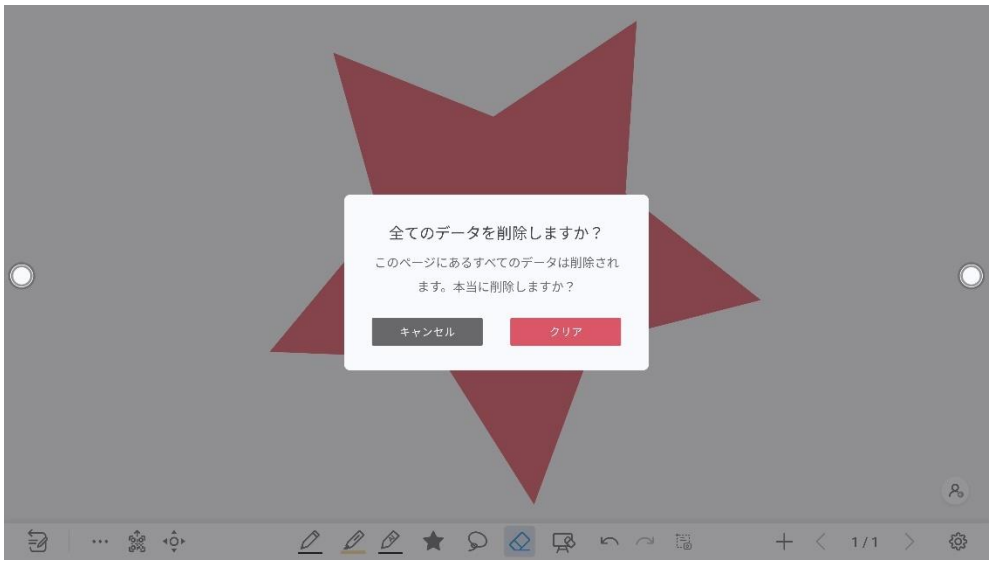
手書きデータの間違いや一部を削除したい場合、下記の 2 つの方法でおこなうことができます

- 部分消しゴム: タップすると、は手書きデータを部分的に消去することができます。
- オブジェクト消しゴム: タップすると、選択した手書きデータのストロークごと削除します。



クリアする

ホワイトボード時にクリアアイコン をタップすると、下図のようにポップアップウィンドウが出現し、現在表示されているページ内のすべてのコンテンツを削除することができます。



4.5.3 ページマネージメント

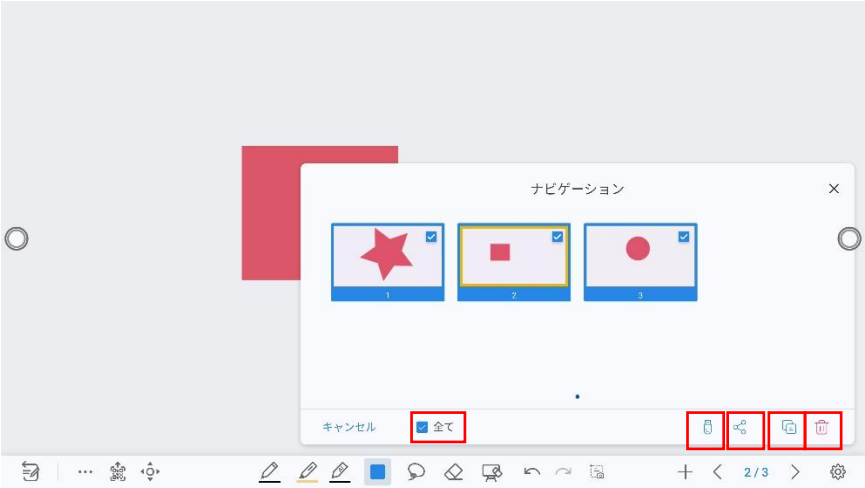
作成したホワイトボードページのプレビュー、選択、保存、削除などを行うことができます。

ページプレビュー

ディスカッションモード時にページ番号をクリックすると、ナビゲーションがポップアップし、作成したすべてのページが表示されます。表示したいページをクリックして、移動できる他、下記の操作を行うことができます。

NOTE

一度に表示できるのは最大 8 ページまでです。8 ページ以上作成している場合、左右にスライドすることで、残りのページの表示に切り替わります。



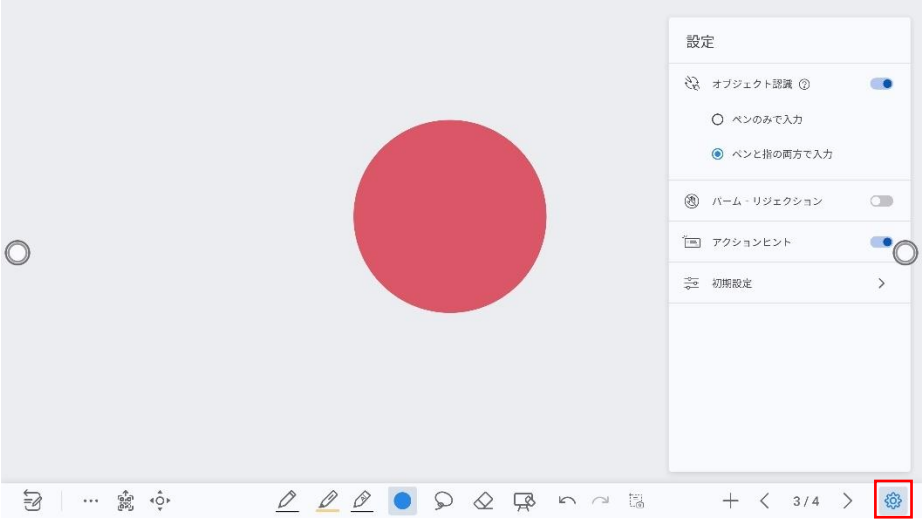
ページの選択と削除

ナビゲーションページで、ナビゲーションの左下の[選択]をタップすると、下図のようにページを選択や削除することが可能です。

- をタップしてすべてのページを選択します。
- をタップして USB フラッシュメモリーに保存します。
- をタップして選択したページを共有します。
- をタップして選択したページを複製します。
- をタップして選択したページを削除します。
- をタップしてナビゲーションを終了します。

4.5.4 ホワイトボード設定

アイコンをタップすると、設定ウィンドウが開きます。ユーザーは、オブジェクト認識、アクションヒントなどの設定を行うことができます。



オブジェクト認識

本製品は入力サイズの自動認識機能が備わっており、タッチ入力する物体のサイズにより異なる機能が振り分けることができます。

・手のひらなど大きな物体: 消しゴムとして認識します。

・タッチペン（細（3 ㎜））: 例えばペンとして使用します。

・タッチペン（太（≥ 8 ㎜））例えばキャンバスの移動などに使用します。

スライダーをタップしてオブジェクト検出機能を有効にし、アイコンをタップすると、次の図に示すように詳細機能が表示されます。

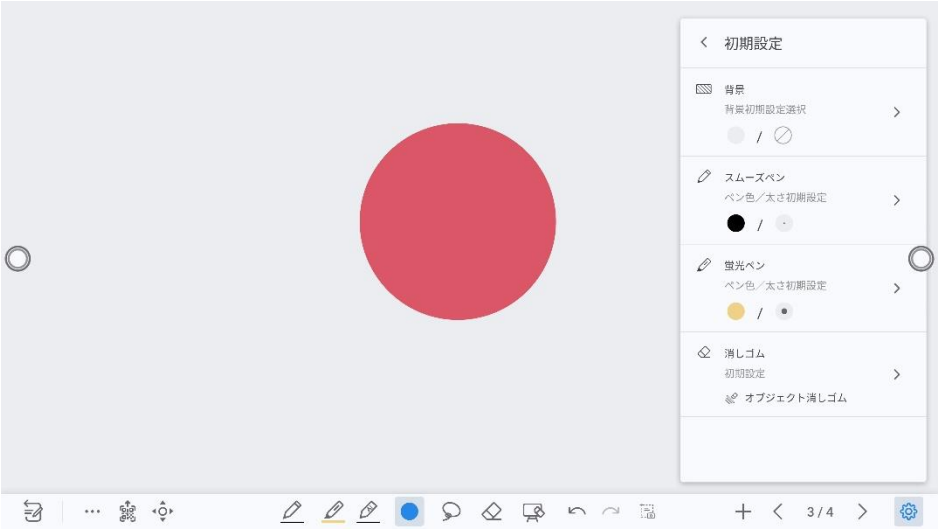
例 1：「細いペンのみで書く」をオンにする

例 2: 細いペンまたは指で書き込みをオンにする

例 3:物体認識をオフにする

アクションヒント: スライダーをタップしてアクションヒントを有効にします。

初期設定: ボタンをタップすると、初期設定に切り替わり、デフォルトのホワイトボードの背景、スムーズペンと蛍光ペンの色と太さ、消しゴムの設定ができます。



4.6 手書きモード

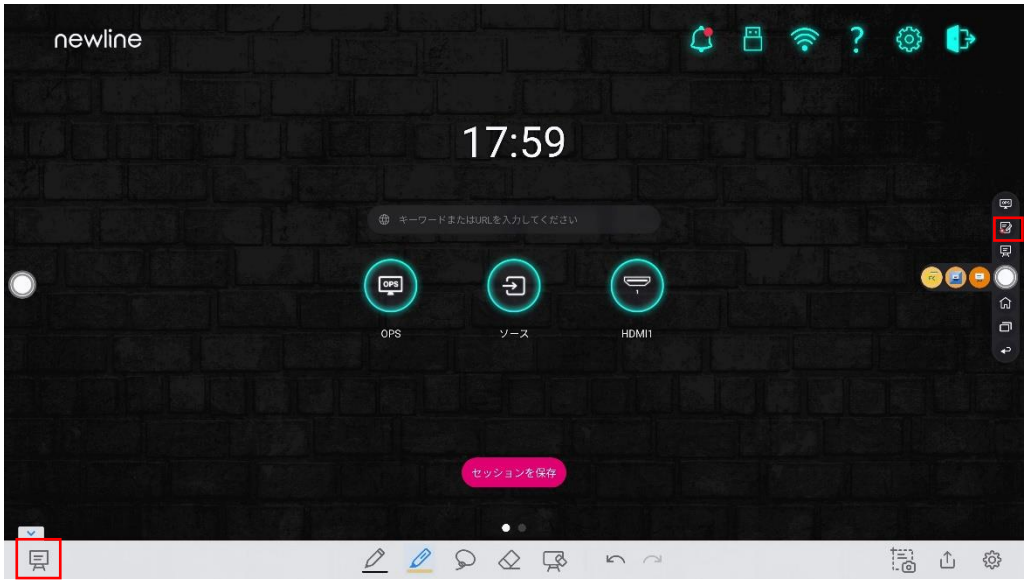
背景が透明になり、表示されている入力信号の画面の上に手書きデータを挿入することができます。Office 文書などのプレゼンテーションや写真などの画面の上にそのまま手書きすることができます。

ユーザーは、以下の 2 つ方法で手書きモードに入ることができます。

- サイドバーの「」アイコンをタップします。
- 「ホワイトボード」インターフェースで、「」アイコンをタップします。

モードの切り替え

左下のアイコンをタップすると、ホワイトボードモードに切り替わります。



スクリーンショットを撮る

アイコンをタップしてスクリーンショットモードに切り替わります

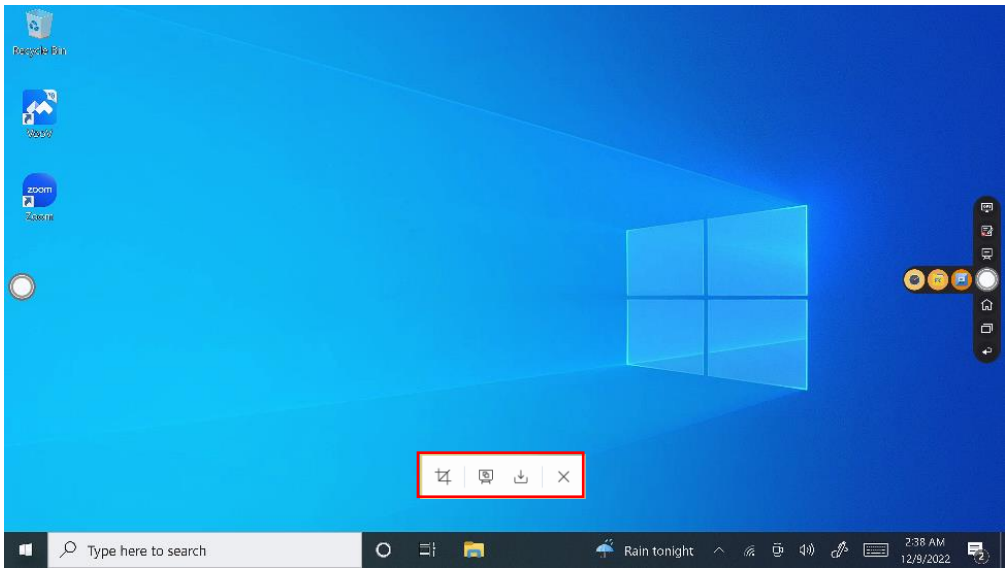
・全画面選択：ポップアップメニューにある全画面選択アイコンをタップすると、全画面がスクリーンショットの対象として選択されます。全画面選択時にポップアップメニュー上の アイコンを押すと、部分選択に戻ります。

・選択範囲の変更：表示されている青いハンドル部分をドラッグして、選択範囲を調整できます。

アイコンをタップすると選択した画面がホワイトボードに貼り付けられます。

アイコンをタップすると、USB フラッシュへの保存や、E メールでの送信、クラウドへの保存などを行うことができます。

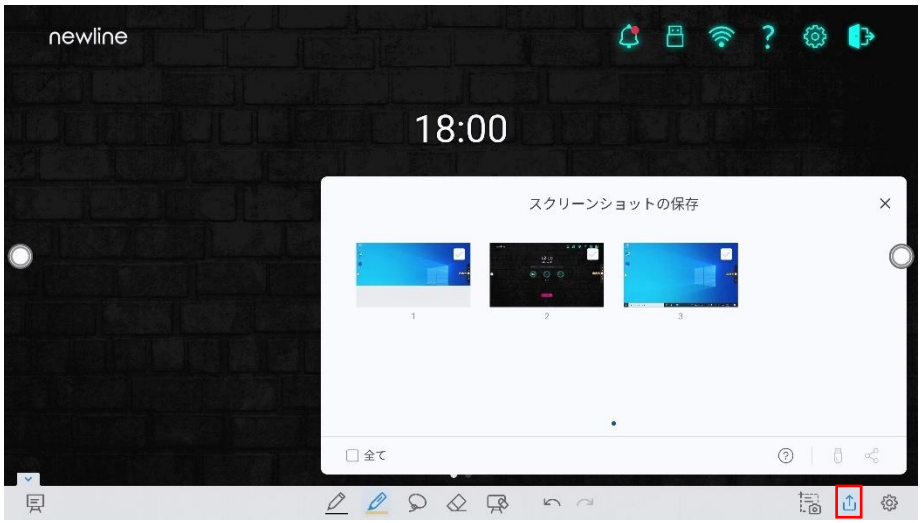
アイコンをタップすると、スクリーンショットを撮らずに終了することができます。



スクリーンショットを保存する

アイコンをタップすると、スクリーンショットを保存する画面が表示されます。

- をタップすると、チュートリアルが表示されます。
- をタップすると、すべてのページが選択されます。
- をタップすると、選択ページを USB フラッシュデバイスに保存します。
- をタップすると、選択ページを USB フラッシュへの保存や、E メールでの送信、クラウドへの保存などを行うことができます。

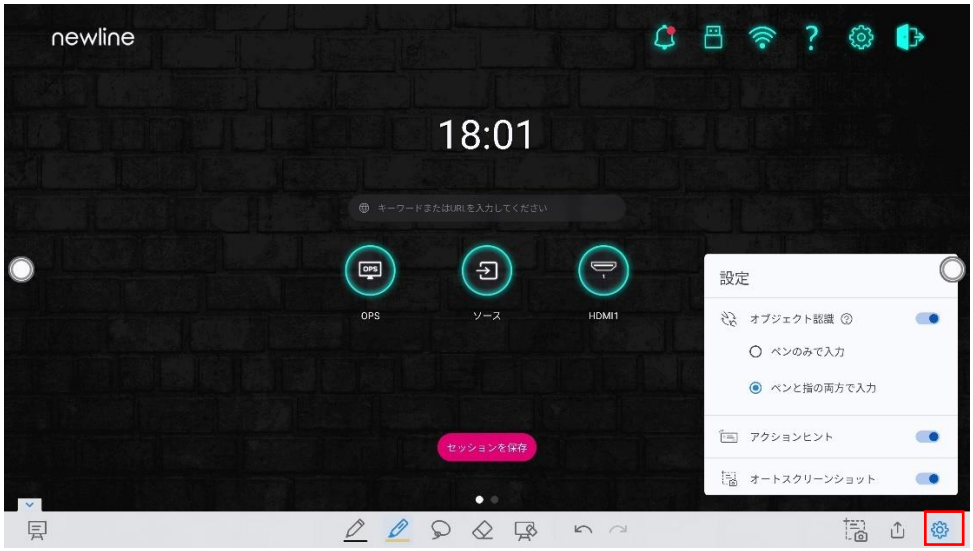


NOTE

ファイルマネージャーの「**内部ストレージ**>「**PICTURES**」>「**SCREENSHOTS**」>「**IMAGE**」」フォルダを選択して、スクリーンショットを確認することができます。

設定

をタップすると、設定画面が表示され、オブジェクト認識、アクションヒント、自動スクリーンショットのオン/オフが設定できます。自動スクリーンショットをオンにすると、手書きモードを終了する際に自動的にスクリーンショットが撮影されます。



NOTE:

詳細な内容は、ホワイトボードの設定をご覧ください。

4.7 チュートリアル

ホームページの右上にある「？」アイコンをタップすると、チュートリアルの画面になります。指で左右にスワイプすると、チュートリアルのページを切り替えることができます。チュートリアルページは 10 ページあり、それぞれ製品の簡単な使い方を紹介しています。

終了するときは、右上の「？」アイコンをタップします。

4.8 ツールバー

ツールバーで、上の黒い部分を押して引き出すと、サイドバーをフローティングバーとして変換させることができます。

ツールバーでは、アイコンをタップして機能ページに切り替えたり、アイコンの追加や削除、カスタムアイコンの追加ができます。

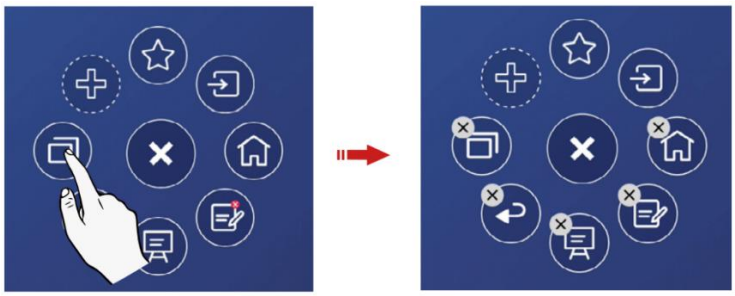
ツールバーを指でドラッグすることで画面内を移動したりすることができます。

標準>最小化

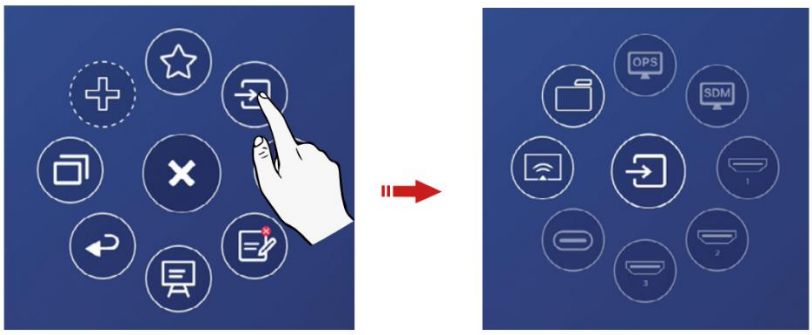
標準>お気に入り

アイコンの削除

アイコンを長押ししてアイコンの削除モードにして、左上の×アイコンをタップすることでアイコンを削除できます。

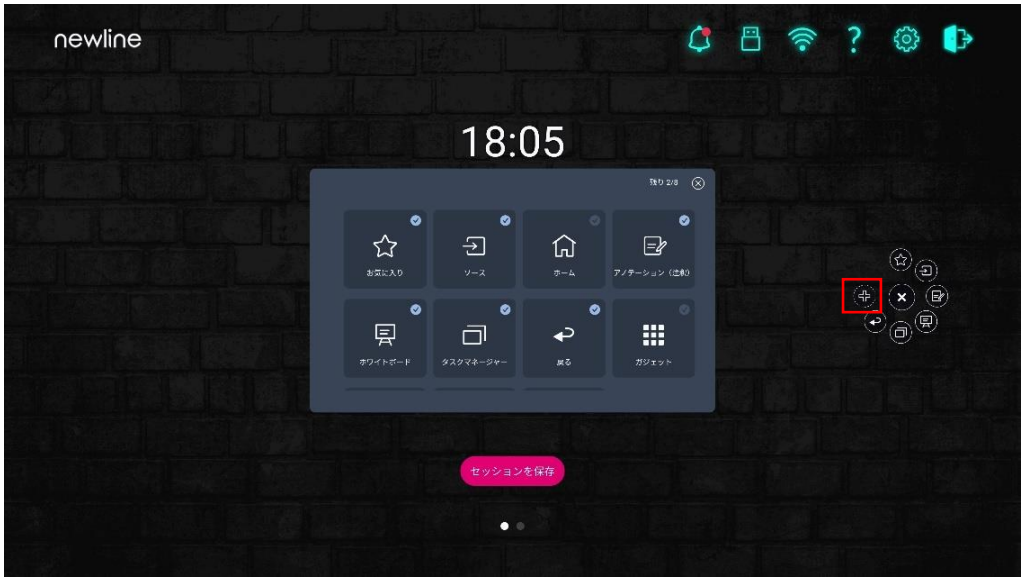


ソース



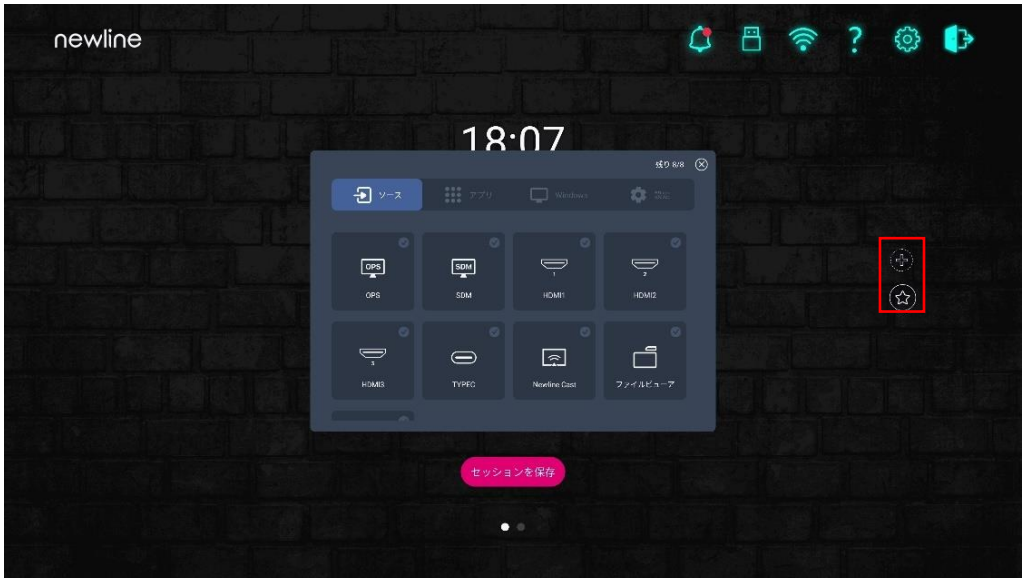
アイコンの追加と削除

ツールバーインターフェイスで、アイコンをタップして次のインターフェイスを表示し、ユーザーはアイコンをタップしてアイコンを追加または削除できます。右上隅にチェックアイコンが付いたアイコンがツールバーに表示されます。



お気に入りのアイコンの追加と削除

ツールバーでアイコンをタップすると、が表示され、＋アイコンをタップすると別画面が表示されます。アイコンをタップして、アイコンを追加または削除できます。右上にチェックアイコンが表示されているアイコンが、お気に入りアイコンバーに表示されます。

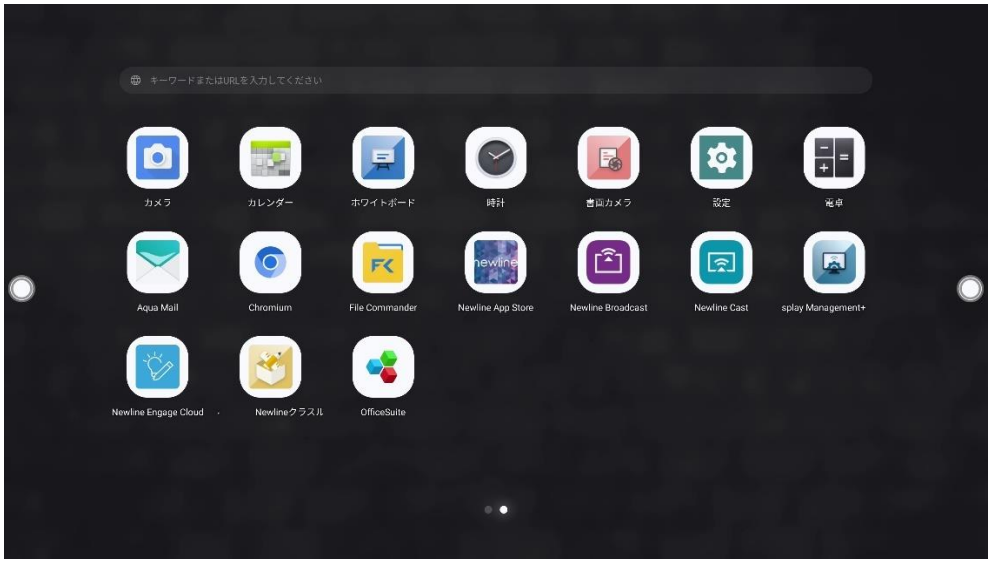


4.9 ガジェット

ガジェットには、インストールされているすべてのアプリケーションが表示されます。アプリケーションのアイコンをタップして、アプリケーションを起動します。

2 つの方法でガジェットを開くことができます。

- ホームページのインターフェースで、左にスワイプしてガジェットのインターフェースに移行します。



Name	Icons	Functions
AquaMail		メールアプリが起動し、ファイルを送信できます。使用時にはメールアカウントの設定が必要です。
電卓		計算機アプリが起動します。
カレンダー		カレンダーアプリが起動します。
Chromium		Web ブラウザーアプリが起動します。
時計		時計アプリが起動します。
File Commander		ファイルビューアーアプリを起動します。
Newline app store		Newline アプリストアアプリを起動します。
Newline Broadcast		Newline Broadcast アプリを起動します。
Newline Cast		Newline Cast のアプリを起動します。
Newline クラスルームツール		このアイコンをタップすると、Newline クラスルームツールアプリに入ります。
Newline display management		Newline のディスプレイマネジメントアプリを起動します。
Officesuite		オフィスビューアーアプリが起動します。表計算や文書、プレゼンテーションなどのファイル、PDF ファイルの閲覧が可能です

Name	Icons	Functions
設定		設定画面を起動します。
書画カメラ		書画カメラアプリを起動します。
ホワイトボード		ホワイトボードアプリを起動します。

4.9.1 Newline Cast

Airplay や専用アプリケーションなど様々な投影方法を使用して、ノートパソコンやタブレット、スマートフォンなどの画面をワイヤレスで本製品へ投影できます。ガジェットページにて Newline Cast アイコンをタップして、アプリケーションを起動します。

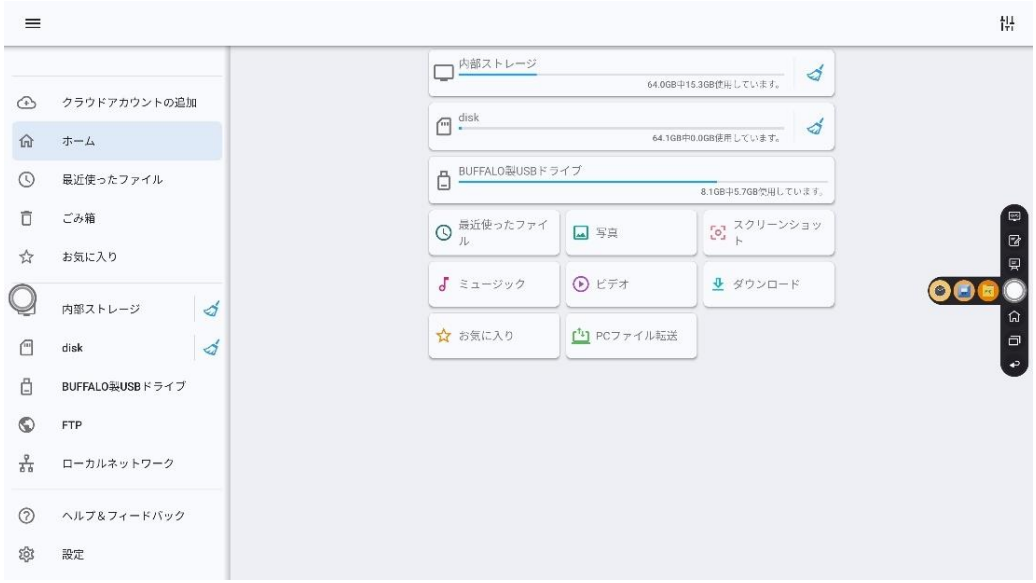
4.9.2 File Commander

本製品は USB フラッシュメモリーを接続して使用することができます。ファイルビューアーを立ち上げ、内蔵メモリーや USB ポートに接続された外部メディアに保存されているデータの閲覧、コピー、貼り付け、削除、検索などを行うことができます。

4.9.2.1 ファイルビューアー

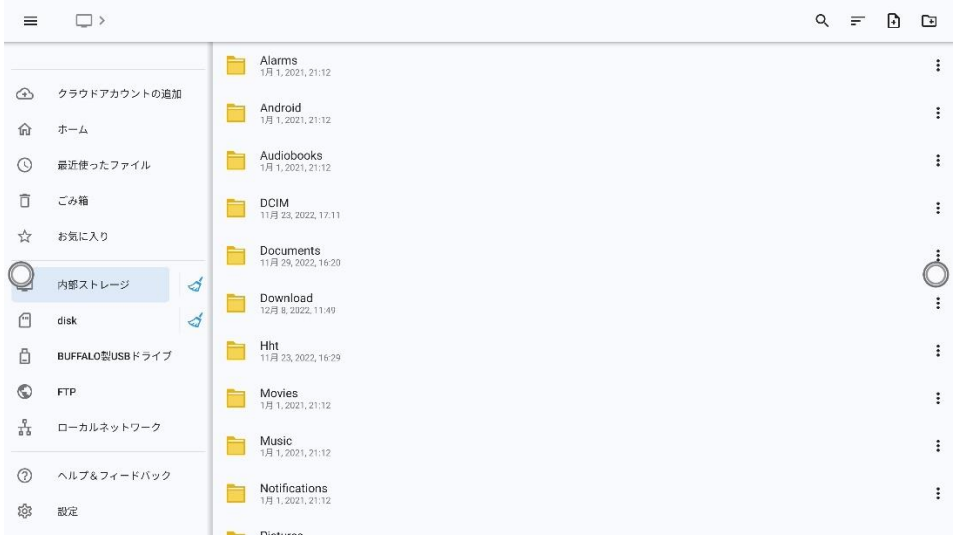
ホーム画面で、**File Commander** をタップしてファイルコマンダーを開きます。

下図のようにアイコンをタップして画像やファイルを表示することができます。



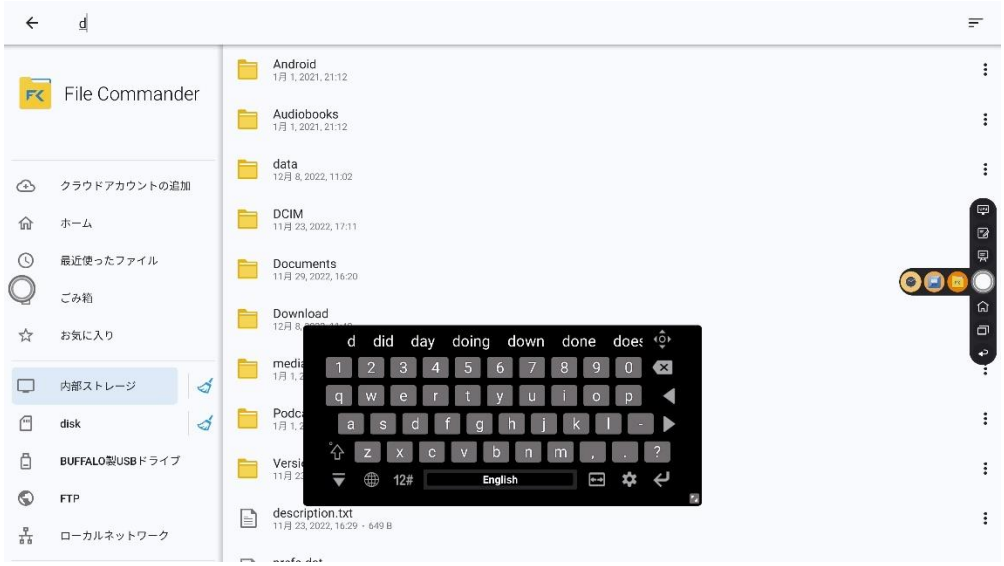
4.9.2.2 プレビュー

ファイルビューアーアプリを起動し、左側のサブメニューを使用して操作したいファイルの保存先を選択します。例えば、下図のように、内蔵ストレージや、USB ポートに接続された USB フラッシュメモリー、クラウド、FTP サーバー、ローカルネットワークホルダーなどに保存されたータにアクセスすることが可能です。



4.9.2.3 ファイルの検索

ファイルビューアーでファイルを検索したいときには、タップします。ダイアログボックスが出現します。検索ボックスにキーワードを入力します。検索後にキーワードにマッチしたファイルが表示されます。

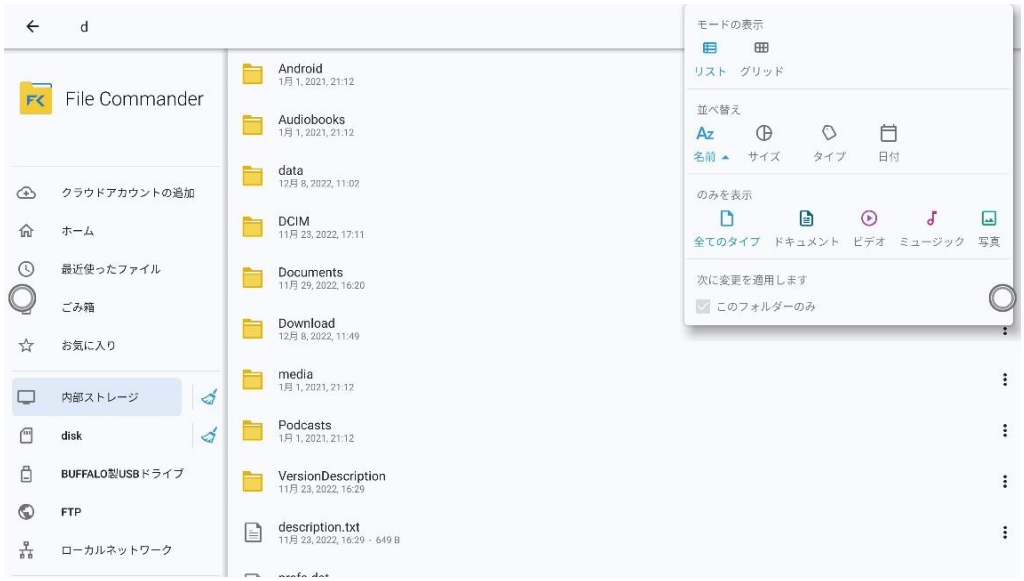


4.9.2.4 フィルタリング

サブメニューからドキュメント、写真、ミュージック、ビデオ、アーカイブ、ダウンロードなどの種類別にファイルのフィルタリングを行うことが可能です。

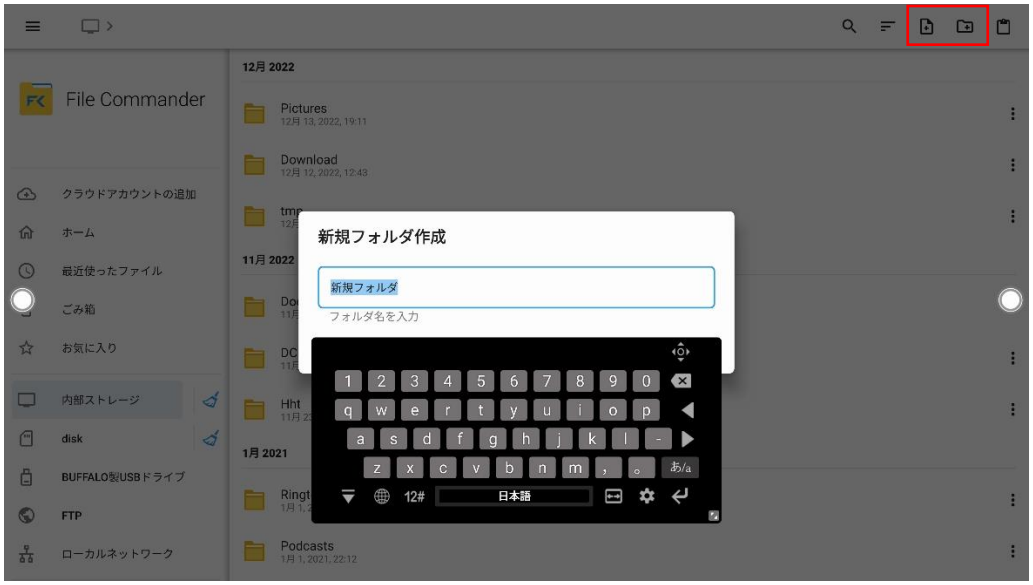
- ファイルビューアーはリスト表示とサムネイル表示の両方に対応しています。下図のように、画面右上のをクリックしてまたはへ表示方法を切り替えることができます。

並び替えアイコンタップすると、名前、タイプ、サイズ、更新日付でファイルの並び替えを行うことができ、表示順序は降順と昇順から選択できます。



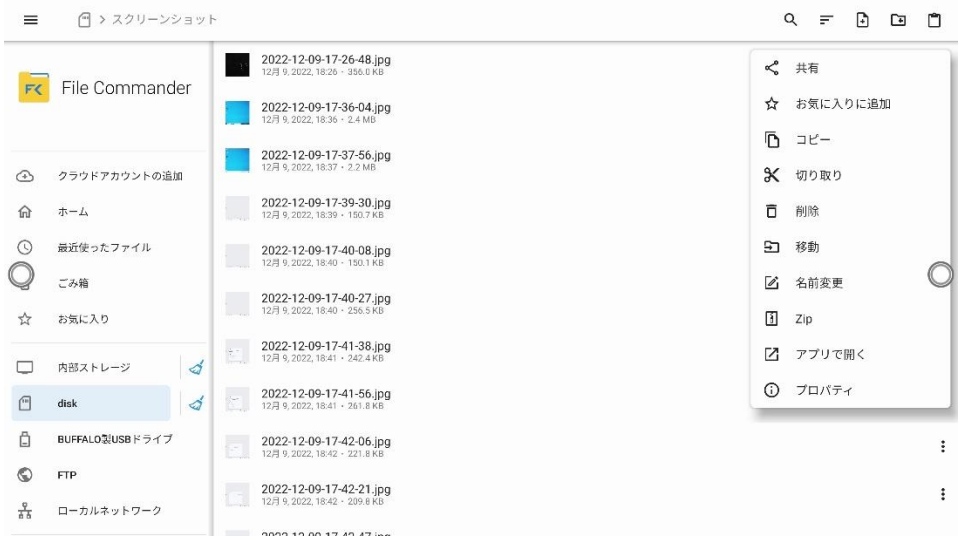
4.9.2.5 新規ファイル・フォルダーの作成

ファイルビューアーアプリを開き、をタップして新規ファイルを作成、をタップして新規フォルダを作成します。



4.9.2.6 ファイル操作

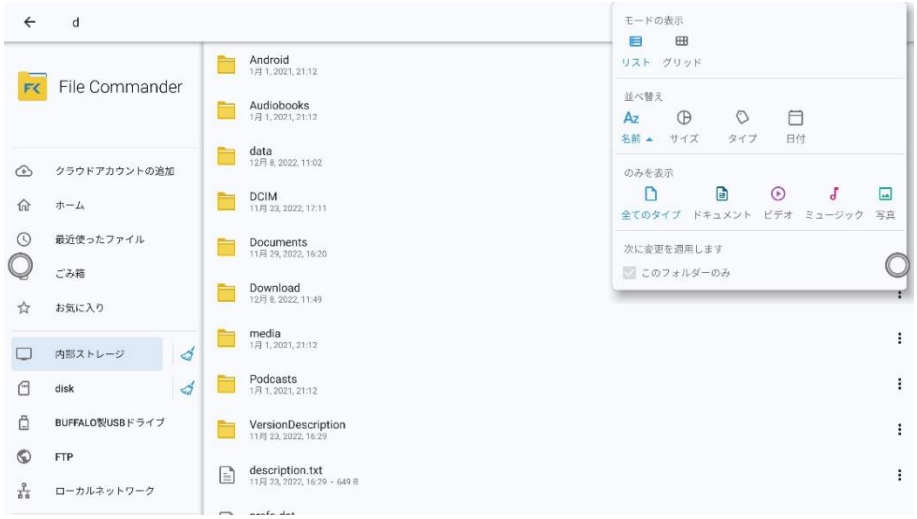
ファイルビューアーをクリックします。必要に応じてフォルダーを作成できます。ファイルを長押しで選択し、コピー、貼り付け、削除などを行えます。画面右上の⋮をクリックすると、その他操作のオプションが表示されます。



4.9.2.7 ファイル名

ファイルマネージャーの「内部ストレージ」>「PICTURES」>「SCREENSHOTS」>「IMAGE」にて、ミーティングなどで作成された画像データが保存されています。スクリーンショットは手書き挿入ページのスクリーンショット、リモコンのスクリーンショット、ホワイトボードのページを含みます。スクリーンショットモードに応じて、画像の名前は異なります。画像名は以下の形式でプレフィックス+ファイル名にて設定されます

- WB (ディスカッションモードのページ)
- AN (手書き挿入ページのスクリーンショット)



4.10 システム設定

以下の方法で、システム設定ページを開きます。

- ホーム画面で⚙をタップします。
- リモコンで⚙を押します。
- クイック設定メニューで、⚙アイコンをタップします。

4.10.1 ネットワーク

システム設定画面で「ネットワーク」をクリックすると、有線ネットワークや Wi-Fi の設定、アクセスポイントの設定、Wake-on-LAN、プロキシ設定などを行うことができます。

- **Wi-Fi**：Wi-Fi 機能のオン/オフおよび接続先の選択をすることができます。
- **イーサネット：**自動的に IP アドレスの取得や、固定 IP アドレスの設定を行うことができます。

- **ホットスポットとテザリング：**モバイルデバイスのホットスポット設定を行います。
- **Wake on LAN：**Wake-On-Lan の機能のオン/オフを行うことができます。この機能がオンの時は、同じネットワークに LAN ケーブルで接続されているパソコンから、IP アドレスおよび MAC アドレスを検索してタッチスクリーンを起動することができます。
- **その他：**プロキシサーバーを設定します。

4.10.2 接続済みのデバイス

システム設定画面で「設定済みのデバイス」をクリックすると Bluetooth をオンにすると、システムは自動的に新しいデバイスを検出し、Bluetooth 経由で接続します。

4.10.3 言語と入力設定

言語や入力方法を変更する場合、設定メニューから「言語と入力」をクリックしてください。

言語の設定

「言語」をクリックすると、「言語の変更」のダイアログが現れ、表示言語を変更することができます。

入力方法の追加

「言語と入力」で 「バーチャルキーボード」をクリックすると、現在選択されているソフトウェアキーボードの一覧が表示されます。「キーボードを管理」をクリックして、キーボードのオン/オフが可能です。（複数選択可能）

初期設定の入力方法は Kika Keyboard F です。

Kika Keyboard F に関して:

：このアイコンを押しながらドラッグすると、キーボードのサイズを任意に変更することができます。

：このアイコンを押しながらドラッグすると、キーボードを移動することができます。

：このアイコンをクリックすると、キーボードのサイズが小中大の 3 種類で順番に変わります。

：このアイコンをクリックするとキーボードが隠れます。

入力方法の設定

「バーチャルキーボード」で表示されているリストから設定変更したいキーボードをクリックすると、設定画面に移動します。

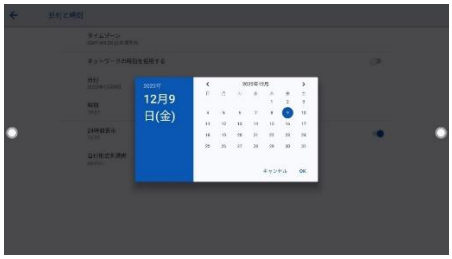
4.10.4 日付と時刻設定

「日付と時刻」をクリックすると、日付と時刻の設定を行うことができます。これらの設定の前に必ず「タイムゾーンの選択」をクリックし、ご使用される地域のタイムゾーンに合わせてください。

日付と時刻の設定

自動的に日付と時刻の情報を取得する方法と、手動で設定する方法の 2 種類があります。

- ネットワークで提供された日付を使用して自動で設定する場合、「日付と時刻の自動設定」にチェックマークを入れてください。
- 手動で設定を行う場合、「日付設定」と「時刻設定」をクリックして設定を行ってください。



NOTE

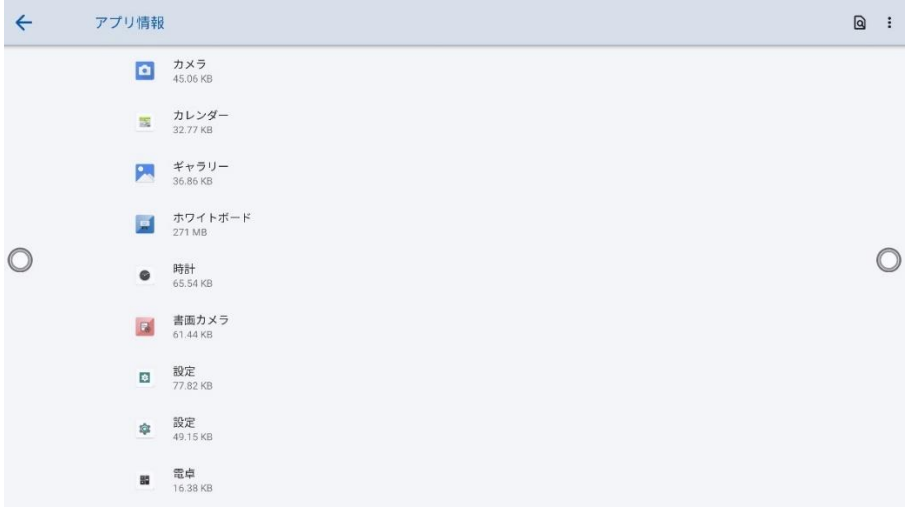
[**24 時間形式を使用**] を選択すると 24 時間表示になり、それ以外の場合は 12 時間表示になります。

4.10.5 ストレージ

「ストレージ」をクリックすると、内部ストレージの使用状況を確認することができます。

4.10.6 アプリ

「アプリ」をクリックすると、ダウンロード済みのアプリや、実行中のアプリ、全てのアプリを確認することができます。



4.10.7 表示&テーマ

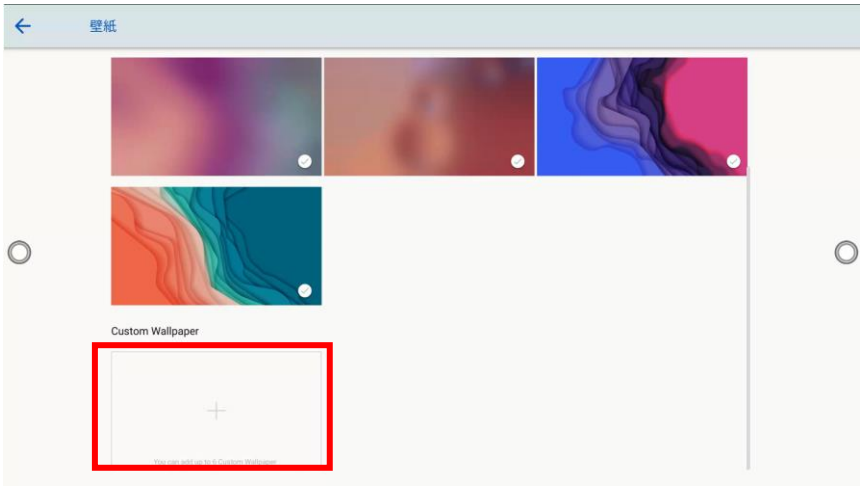
「表示＆テーマ」をクリックすると、システムテーマ、壁紙、ロゴの変更を行うことができます。

- **テーマの設定**

  ６つのテーマから選べます。

- **壁紙の設定**

  初期設定の壁紙から、任意の画像に壁紙を変更することができます。 画面下部の+を押すとファイルビューアーが表示され、画像を選択することができます。



- **ロゴ**

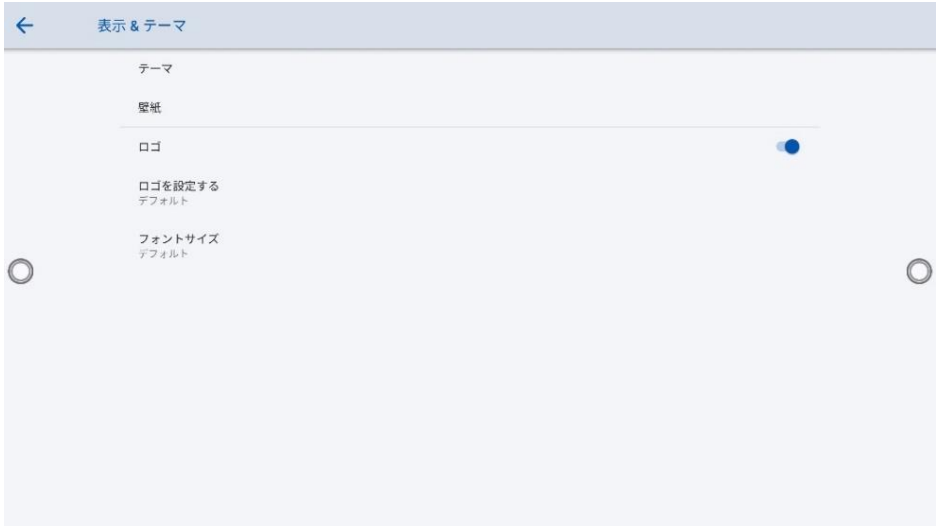
  ホーム画面にあるロゴのオン/オフを切り替えられます。

- **ロゴの変更**

  初期設定の Newline ロゴ から、ロック画面のロゴおよびホーム画面のロゴを任意の画像に変更することができます。変更したいロゴをクリックし、ファイルビューアーから画像を選択してください。

- **フォントサイズの変更**

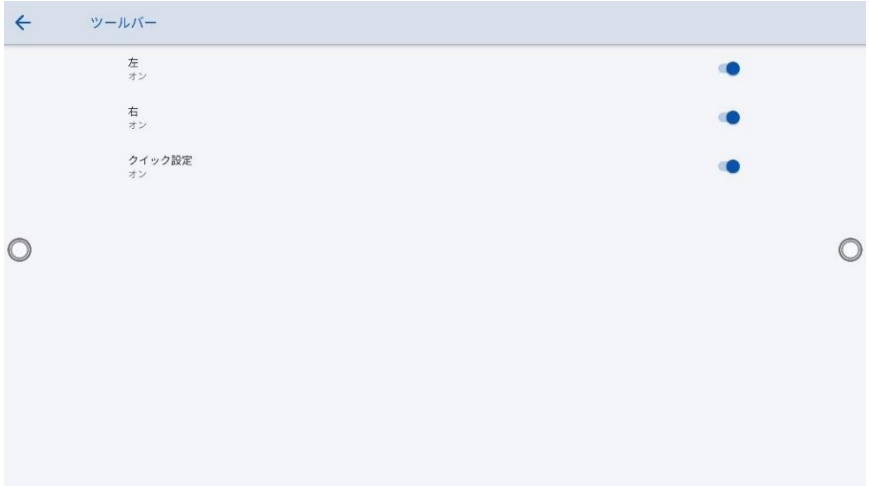
  フォントサイズを変更することができます。



4.10.8 ツールバー　設定

設定画面の「ツールバー」をクリックすると、ツールバーとクイック設定の表示を切り替えることができます。

- 左: 左側のツールバーの表示/非表示の設定。
- 右: 右側のツールバーの表示/非表示の設定。
- クイック設定: クイック設定の表示/非表示の設定。



4.10.9 入力と出力設定

「入力と出力」をクリックすると、起動時の信号源の設定、新しい信号源を検出した際の動作、HDMI 出力の解像度の設定などを行うことができます。

- **開始ソース**:電源投入後に接続する信号源を選択します。
- **ソースプレビュー**: ソースプレビューのオン/オフを設定します。

・**自動ソースの切り替え**: オンにすると新たに接続された信号源の画面に自動的に切り替わります。

・**CEC 自動電源オン**:オンになっていると、接続している CEC 対応機器に連動してディスプレイの電源をオンにすることができます。

・**CEC 自動電源オフ:** オフになっていると、ディスプレイに連動して、接続している CEC 対応機器の電源をオフにすることができます。

・**HDMI 1/2 & DP EDID スイッチ 1.4/2.0**: HDMI 1 および 2 ポート、および DisplayPort の EDID を 1.4 および 2.0 から選択することができます。

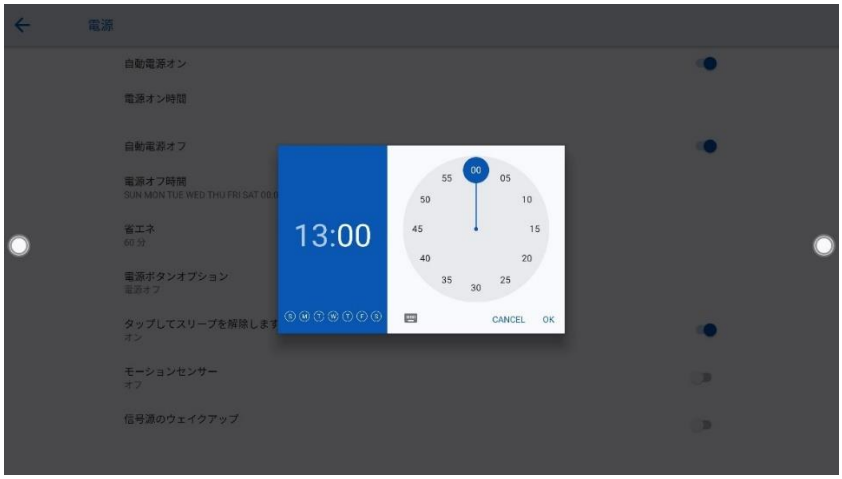
4.10.10 電源設定

「電源」をクリックすると、自動電源オン/オフタイマーの設定や、入力がない時に自動的にシャットダウンするまでの時間の設定を行うことができます。

- **自動電源オン/オフ:**電源のオン/オフを設定できます。
- **電源オン/オフ時間:** 電源オン/オフの時間を設定すると、設定した時間に自動的に電源をオン/オフします。
- **省エネ:**モニターを操作しなかった際に、モニターがロックモードになるまでの時間を設定します。
- **電源ボタンのオプション:** 電源オフまたはスリープモードを選択できます。
- **タップしてスリープを解除します:** オンの場合、画面をタッチすることでスリープを解除できます。
- **モーションセンサー**: 近接センサー機能のオン/オフを切り替えます。
- **信号源ウェイクアップ**: 信号源ウェイクアップのオン/オフを切り替えます。

- 電源オン時間を設定するには、下図のように[自動電源オン]を選択し、[電源オン時間] で電源オンにする時間を設定します。

- 自動電源オフ時間を設定するには、次の図に示すように、[**自動電源オフ**] を選択し、[電源オフ時間] で電源オフ時間を設定します。



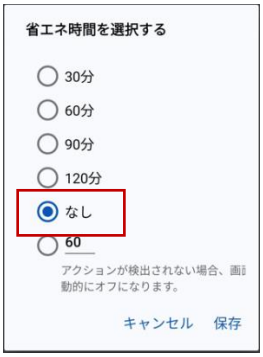
省エネ設定をする場合、［省エネ]をタップします。表示されるダイアログボックスで、画面を操作しないままにされた場合に画面がロック状態になるまでの時間を設定します。

画面がロックされた後、ユーザーが 120 秒以内に画面を操作しない場合、電源オフとなります。

継続時間は、30 分、60 分、90 分、または［なし］に設定できます。この継続時間をカスタマイズすることもでき、3 分～480 分の範囲で設定することが出来ます。

NOTE

オフを選択した場合、この機能は解除され、自動的にシャットダウンしません。



4.10.11 アイプロテクション

ホワイトボード書き込み時の明るさの自動調整、周囲の明るさに応じた目の保護、ブルーライトフィルターのオン/オフとフィルターレベルなどの設定を行うことができます。

・ホワイトボード調整：オンになっているとホワイトボードへの手書き入力時に、自動的に明るさを調整します

・リアルタイム調整：オンになっていると周囲の状況により、明るさを調整します。

・ブルーライトフィルター：オンにし、フィルターレベルを上げると、画面が黄色がかり、夜間などでも画面が見やすくなります。

4.10.12 システム

「システム」をクリックすると、機器情報と管理者モードを確認できます。

機器情報

「機器情報」をタップすると、モデル、シリアルナンバー、システムバージョン、ファームウェアバージョン、IP アドレスなどのシステム情報が確認できます。

アドバンスド

- 画面上のキーボードを使用して、パスキーを入力すると、管理者モードに切り替わります。パスワードは 2364606633 となっています。

- 管理者モード画面が表示されます。右上の X ボタンを押すと終了しますが、5 分間に操作が検出されない場合は自動的に終了します。

1. リセット

「リセット]をタップし、ネットワーク設定のリセット、アプリの環境設定のリセット、工場出荷時のデータのリセットを設定することができます。

2. システムアップデート

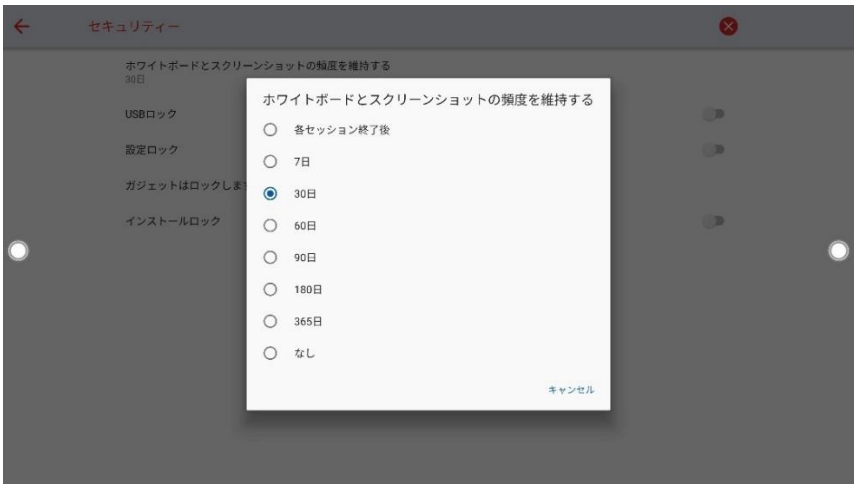
「システムアップデート]をタップして、システムをアップデートします。

3. セキュリティー

「セキュリティー]をタップして、ホワイトボードとスクリーンショットのデータの削除頻度や USB ロックなどを設定できます。

- ホワイトボードとスクリーンショットの頻度を維持する:

  ホワイトボードとスクリーンショットの保持期間を設定します。



- USB ロック: USB ロックを有効にすると、システムでは USB ディスクがロックされ、USB ディスクからデータを読み取ることができなくなりますが、USB マウスとキーボードは使用することができます。外部ソースではすべての USB デバイスがブロックされます。

4. アカウント

「アカウント」をタップし、所有者アカウントの確認、所有者の名前変更、またはアカウントパスキーのリセットなどを行います。

- 所有者の名前変更:所有者の名前を変更できます。
- パスキーのリセット:パスキーをリセットすることができます。
- ユーザーのエクスポート: 2 台以上のデバイスを持っていて、設定を継承したい場合に、設定ページで USB メモリーを挿入し、エクスポートオプションを押すと、設定をエクスポートすることができます。
- ユーザーのインポート:エクスポート ファイルを USB ディスクに入れて USB ポートに接続し、インポートオプションを押して、他のデバイスからエクスポートした設定をインポートします。

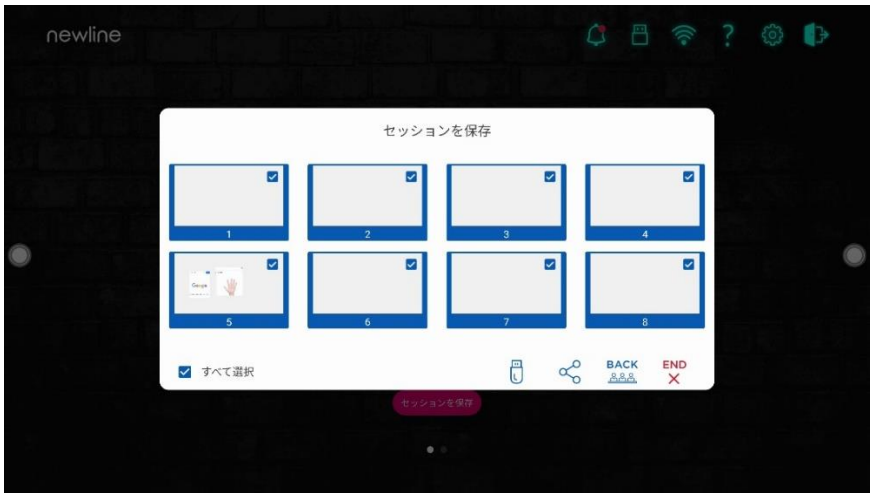
4.11 セッションの保存

ホワイトボードデータ、スクリーンショットデータがある場合、ホーム画面上にセッションの保存ボタンが表示されます。

「セッションの保存」ボタンをタップすると、「セッションの保存」画面が表示され、セッションを保存することができます。

- をタップし、すべてのページを選択することができます。

  （任意のページのみ選択することも可能です）
- をタップし、USB メモリーに保存します。
- をタップし、セッションページを様々な方法で共有することができます。
- BACK をタップし、ホーム画面に戻ります。
- END をタップし、セッションを終了します。



NOTE

セッションの保存機能は、今回のセッション作成されたデータのみとなり、以前のセッションデータは表示されません。

保存プロセスを完了する前に USB メモリーを取り出さないでください。

USB メモリーが 16GB より大きい場合、またはファイル形式が FAT32 でない場合、データは正しく保存されない場合がございます。

4.12 自動的に電源オフ

一定時間タッチスクリーンを操作しない場合、電源を自動的にオフにすることができます。電源オフに移行するまでの時間は、設定＞電源オン/オフにて設定できます。設定方法の詳細は、"電源オン/オフ設定"をご参照ください。

電源オフ 120 秒前からカウントダウンが始まり、カウントダウン内に操作がされると、自動電源オフは解除されます。

5 ショートカットの追加と削除

5.1 ホーム画面へのショートカットの追加と削除

Step 1 ホーム画面のアイコンのいずれかを長押しして、編集モードに切り替えます。

Step 2 「+」アイコンをタップし、最大 6 つのアイコンを追加することができます。

また、左上にある「x」アイコンをして、アイコンを削除することもできます。

Step 3 ホームページでショートカットアイコンをクリックすると、プログラム/アプリケーションを起動したり、外部信号源に切り替えたりすることができます。

NOTE

アイコンを長押しして編集モードに切り替え、6 つのアイコンが追加されると+アイコンは表示されません。アイコン名をクリックして、アイコン名を変更することもできます。

5.2 Newline アシスタント

Newline アシスタントは、 本体 OS と OPS の間のブリッジとして使用されるツールです。これは、Windows ソフトウェアのショートカットをホームページに追加するのに役立つだけでなく、ソースを切り替えるときの USB データの保護にも役立ちます。OPS をインストールした際は Newline アシスタントをインストールすることを推奨いたします。

5.2.1 インストール

Step 1 OPS ソースを選択します(「OPS のインストール(オプション)」を参照)。

Step 2 ホーム画面で OPS をタップすると、ソースが Windows に切り替わります。

Step 3 ホームページ www.newline-interactive.com から **Support** > **download** > **Q+ series** を選択し、Newline アシスタントのインストールパッケージをダウンロードします。

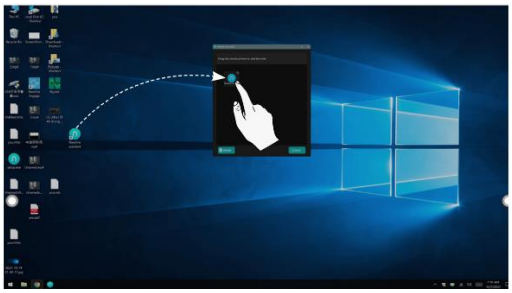
Step 4 指示に従って Newline アシスタントをインストールします。

5.2.2 クイックスタート Windows プログラムを追加する

Step 1 Windows では、newline アシスタントプログラムを実行し、追加するソフトウェア アイコンまたはフォルダーショートカットアイコンをデスクトップまたはメニューから［newline アシスタント］ウィンドウをドラッグ&ドロップします。Windows システムを介して追加または削除されたアプリケーションは、アップロードの進行状況が 100%に達すると自動的に更新されます。アプリケーションが更新されていない場合は、右上のアイコンSyncをタップして、組み込みオペレーティングシステムの Newline アシストウィンドウを手動で更新してください。

NOTE

フォルダーと.exe ファイルのみに対応しています。



Step 2 サイドバーのアイコンをクリックしてガジェットインターフェイスに切り替え、Step 1 で newline アシスタントによって追加されたすべての Windows ソフトウェアショートカットを表示します。

Step 3 ガジェットインターフェイスで、追加した Windows アプリケーションのアイコンをクリックすると、ソフトウェアが起動します。

6 クイック設定メニュー

2 本の指をそれぞれから少し離した状態で、画面の下限部分から上にスワイプすると、クイック設定メニューが下図の通り現れます。

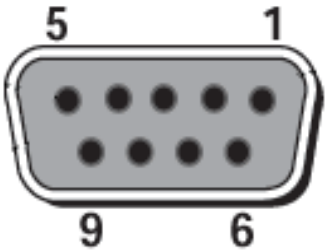
アイコン	機能
	スライダーを操作し、明るさの調整
	スライダーを操作し、スピーカーからの音量の調整
	画面の一時停止（Freeze）
	マイクのミュート/ミュート解除
	スマートシステムの Wi-Fi のオン/オフ

アイコン	機能
	Newline クラスルームツールの起動
	サウンドの設定 サウンドのみとすると、画面がオフとなります。
	ツールバーのオン/オフ
	ホーム画面へ移動
	外部信号源の表示
	設定ページへ移動
	分割画面で使用するアプリの選択
	画面のロック
	ログアウト

7 シリアルポート制御

RS232 通信ケーブル(クロスデータケーブルを使用してください)

PIN	本機	コンピューター
1	NC	NC
2	RXD0	TXD0
3	TXD0	RXD0
4	NC	NC
5	GND	GND
6	NC	NC
7	NC	NC
8	NC	NC
9	NC	NC
Cover	GND	GND



RS232 port of panel

RS-232 ポートをパソコンなどのコントロール機器に接続します。RS-232 シリアルポート接続を有効にして、下記の設定を行ってください。

ポート：COM1（PC または制御製品のポート番号に合わせて設定します）			
ボーレート	115200	奇数/偶数チェック	None
データビット	8	ストップビット	1

下記の表はコントロールコード、クエリコードおよびリターンコードとなります。

機能	制御コード	リターンコード
電源オン	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 00 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 00 01 CF
電源オフ	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 01 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 01 01 CF
ミュート/ミュート解除	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 02 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 02 01 CF
信号源	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 06 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 06 01 CF
ホワイトボード起動	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 07 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 07 01 CF
ディスプレーの状態	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 09 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 09 01 CF
HDMI 前面 / HDMI 1	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 0A CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 0A 01 CF
HDMI 背面 1 / HDMI 2	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 52 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 52 01 CF
HDMI 背面 2 / HDMI 3	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 53 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 53 01 CF
VGA	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 54 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 54 01 CF
Type C	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 58 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 58 01 CF
OPS	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 38 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 38 01 CF
内部 SDM	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 39 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 39 01 CF
DP	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 56 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 56 01 CF
ページアップ	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 13 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 13 01 CF
ページダウン	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 14 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 14 01 CF
音量 -	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 17 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 17 01 CF
音量 +	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 18 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 18 01 CF
メニュー	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1B CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1B 01 CF

機能	制御コード	リターンコード
ホーム画面	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1C CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1C 01 CF
戻る(終了)	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1D CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1D 01 CF
OK	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2B CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2B 01 CF
←	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2C CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2C 01 CF
→	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2D CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2D 01 CF
↑	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2E CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2E 01 CF
↓	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2F CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2F 01 CF
音量設定	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 05 XX CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 05 XX 01 CF
ファームウェアバージョン確認	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 3D CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 3D XX CF
ディスプレイモードの設定	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 06 XX CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 06 XX 01 CF
手書き機能の有効化	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 40 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 40 01 CF
バックライトの明るさを上げる	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 47 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 47 01 CF
バックライトの明るさを下げる	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 48 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 48 01 CF
バックライトの明るさの設定	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 09 XX CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 09 XX 01 CF

機能	制御コード	リターンコード
バックライトの切り替え	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 15 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 15 XX CF
画面ロックに	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 57 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 57 01 CF
スクリーンショットの撮影	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1F CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1F 01 CF
設定	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 20 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 20 01 CF
フリーズのオン/オフ	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 3B CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 3B 01 CF
フリーズオン	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 0B 00 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 0B 00 01 CF
フリーズオフ	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 0B 01 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 0B 01 01 CF
ミュートオン	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 0F 00 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 0F 00 01 CF
ミュートオフ	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 0F 01 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 0F 01 01 CF
スイッチ安全ロック	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 0D 01 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 0D 01 01 CF
スイッチ安全ロック解除	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 0D 00 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 0D 00 01 CF
バックライト点灯	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 0E 01 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 0E 01 01 CF
バックライト消灯	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 0E 00 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 0E 00 01 CF

機能	クエリコード	リターンコード
電源	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 37 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 37 XX CF 注： XX は電源 ON/OFF の状態を示します。 XX＝01：電源オン状態。 XX ＝ 00：電源オフ状態。
スピーカー	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 82 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 82 XX CF 注： 01：ミュート 00：非ミュート
現在の信号源	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 50 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 50 XX CF 注： スマートシステム＝30 PC＝17 DP=20 HDMI 背面 1＝1F HDMI 背面 2＝1E VGA＝00 HDMI 前面＝19 タイプ C＝22

機能	クエリコード	リターンコード
スピーカー音量	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 33 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 33 XX CF 注： XX は現在の音量値を示します（XX は 16 進数、範囲：00～64）。 例えば、XX=20 は現在の音量値が 32（10 進数）、XX=00 はミュート状態であることを示します。
ディスプレイモード	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 35 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 35 XX CF 注： XX はモードを示します。 XX = 00 – 標準。 XX = 01 – ECO モード。 XX＝02 - 自動。
バックライトの明るさ	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 49 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 49 XX CF 注： XX はバックライトの明るさの値（0～100）で、16 進数表記（00～64）に対応します。
バックライトの状態	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 81 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 81 XX CF 注： XX＝00 はバックライトが点灯していることを示します。 XX＝01 はバックライトが消灯していることを示します。

機能	クエリコード	リターンコード
画面ロックの状態	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 84 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 84 XX CF 注： XX=01 はチャイルドセーフティロックが ON になっていることを示します。 XX＝00 はチャイルドセーフティロックが OFF であることを示します。
ホワイトボードの状態	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 83 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 83 XX CF 注： XX=01 はホワイトボード状態にあることを示します。 XX=00 はホワイトボード状態にはないことを示します。
上記のオプションのシステム状態に戻る	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 0A 00 CF	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 0A 00 AB CD EF GH IJ OP QR ST UV CF 注： AB：電源 CD：スピーカー EF：現信号源 GH：スピーカー音量 IJ：D.モード OP：バックライトの明るさ。 QR：バックライトの状態。 ST：ホワイトボード状態。 UV：スクリーンロック状態。

8 よくある質問とトラブルシューティング

現象	トラブルシューティングの方法
電源が入らない。インジケーターが点灯しない。	電源コードが正しく接続されているかご確認ください。
	電源プラグが正確に接続されてことを確かめてください。
	電源コンセントが通電していることを確かめてください。
	主電源スイッチがオンになっていることを確かめてください。
	リセットスイッチを押し、再度起動してください。
リモートコントロールが反応しない。	電池を交換してください。
	電池が正しい方向に接続されているかご確認ください。
	リモートコントロールがきちんと受光部に向けて信号が送信されているかご確認ください。詳細は、「リモコン」の章をご覧ください。
画像は正常に表示されるが音声が出力されない。	タッチスクリーンと Windows システムの両方で音量を上げてください。
	タッチスクリーンまたは Windows システムがミュートになっていないことを確かめてください。
	外付けコンピューターが接続されている場合、ケーブルが正常に接続されていることを確かめてください。
自動的に電源がオフになる	入力電源が安定していることを確かめてください。
	自動電源オフ機能が設定されているか確認してください。
	節電設定がオンになっていませんか？節電設定がオンになっていると、一定時間操作が行われない場合、自動的に電源がオフになります。
画像の色が異常	HDMI ケーブルが正しく接続されているか、品質に問題がないかを確認します。
	HDMI ケーブルが正しく接続されているか、またケーブルの品質に異常はないか、確かめてください。

現象	トラブルシューティングの方法
タッチ操作が正常に動作しない。位置がずれている。	製品を再起動してください。
	Windows 機器の場合、キャリブレーションを行なってください。詳細は、「キャリブレーション」の章をご覧ください。
外部信号源接続時にタッチ操作ができない。	別の外部信号源に切り替えてタッチ操作を正常に行うことができるか確認してください。
	USB タッチケーブルが正しいポートに接続されているかご確認ください。詳細は、「ポート」の章をご覧ください。
	USB タッチケーブルの再接続を行うことによって使えるようになることがあります。
HDMI 接続で音が出ない。	HDMI ケーブルを抜き差しし直してください。
	本製品の音量設定を確認してください。
	HDMI ケーブルを一度抜き差しすると改善する場合があります。
HDMI 出力で接続した機器から映像が出ない。	入力機器とのマッチングで正しく表示されない場合が頻繁に発生します。入力機器を他のものに交換して、出力されるかご確認ください。
	HDMI ケーブルが長すぎたり、品質が悪いと正しく出力されない場合があります。製品付属のHDMI ケーブルに切り替えてください。
フロントパネルのボタンが効かない。	指でしっかりと押して操作してください。
	指が濡れていると正しく反応しない場合があります。
	製品を再起動してください。
USB フラッシュメモリーが認識されない。	正しいUSB ポートに接続されているかご確認ください。詳細は、「ポート」の章をご覧ください。
	必ずFAT32 でフォーマットされたUSB フラッシュメモリーをご使用ください。
ミーティングデータがUSB フラッシュメモリーに正しく保存されない。システムは「目標のストレージ製品は書き込み許可を得ていません」と表示される。	必ず FAT32 でフォーマットされた USB フラッシュメモリーをご使用ください。 データの書き込み完了前に USB フラッシュメモリーを本体から抜くと、正しく保存されません。必ず書き込み完了まで待ってから取り外しを行なってください。
	内蔵パソコンが正しく接続されていない可能性があります。

現象	トラブルシューティングの方法
内蔵パソコンが表示されない。	内蔵パソコンの電源がオフになっている可能性があります。オフになっている場合、内蔵パソコンの電源を手動でオンにしてください。（詳細は内蔵 PC のマニュアルをご参照ください）
	OPS の電源ボタンを押し（詳細は OPS の取扱説明書を参照）、手動で OPS を起動してください。
スマートシステムまたは Windows システムで無線接続が見つからない、または、弱い。	スマートシステムのWi-Fi アンテナが正しく接続されているか確認してください。詳細は、「ポート」の章をご覧ください。
	内蔵パソコンの Wi-Fi アンテナが正しく接続されているか確認してください。
キーボードが正しく表示されない。	設定画面でハードウェアキーボードをオンにして再度試してください。
フロントパネルのポートへ手持ちマイクを接続する場合、ユーザーとマイクの距離を 1m 以内に保ってください。さもなければ音声が歪む場合があります。	フロントパネルは手持ちマイクに対応しておらず、固定マイクを使用する必要があります。音質を確保するため、マイクとユーザーとの距離は 1m 以内に保ってください。
タッチパネルがCEC設備に接続され、電源が切れると、電源再起動後もタッチパネルはシャットダウンされたままとなります。CEC設備はタッチパネルを呼び出すことができません。	リモコンで起動し、タッチパネルをオフにしてください。その後、CECの設備を使って呼び出すことができます。

9 主な仕様

製品型番	TMS-NL-QA65	TMS-NL-QA75	TMS-NL-QA86
液晶パネル			
バックライト	LED		
表示画面サイズ	56.22 in x 31.61 in/ 1428 x 804mm	64.96 in x 36.54 in/ 1650 x 928mm	74.61 in x 41.97 in/ 1895 x 1066mm
画面サイズ	65 インチ	75 インチ	86 インチ
アスペクト比	16:9		
解像度	3840 x 2160 画素		
表示色	10.7 億色		
輝度	≥ 400 cd/m^2		
コントラスト	≥5000:1	≥5000:1	≥5000:1
応答速度	≤ 10 ms		
バックライト寿命	≥50000 h (Min.)		
スピーカー			
出力	20W x 2 + 15W ウファー x 1		
集音マイク			
マイクアレー数	8 アレー		

製品型番	TMS-NL-QA65	TMS-NL-QA75	TMS-NL-QA86
電源			
エコモード消費電力	エコモード≤ 150 W スタンバイ≤ 0.5 W	エコモード≤ 240 W スタンバイ≤ 0.5 W	エコモード≤ 270 W スタンバイ≤ 0.5 W
電圧	AC 100 V - 240 V, 50 Hz / 60 Hz		
タッチ			
ガラス表面処理	アンチグレア＋指紋防止＋抗菌強化ガラス		
保護ガラス透明度	88%±3%		
タッチ点数	32 点（Android） 40 点（Windows）		
検出方式	赤外線遮断式		
環境条件			
保存温度/湿度	-20℃~60℃/0～90％RH(結露無きこと)		
動作温度/湿度	0℃-40℃/20～80％RH(結露無きこと)		
設置金具	壁掛け/スタンド（設置金具はオプション購入品）		
外形寸法	1513x926x116mm	1735x1051x116mm	1981x1190x116mm
梱包寸法	1640x1036x207 mm	1859x1160x227 mm	2119x1290x250 mm
本体重量	約 39kg	約 50kg	約 65kg
梱包重量	49±1kg	64±1kg	82±1kg
入出力端子			
前面	HDMI In x 1, USB (Touch) x 1, USB 3.0 x 1, Microphone In x 1, Type C x 1		
背面	RS-232 x 1, Line Out x 1, SPDIF out x 1, HDMI Out x 1, USB 3.0 (Public) x 2, USB 3.0 (Android) x 1, Type C x 1, USB3.0 (Touch) x 3, HDMI 2/3 In x 2, DP x 1, OPS Slot x 1 (4K@60Hz), SDM Slot x 1		

製品型番	TMS-NL-QA65	TMS-NL-QA75	TMS-NL-QA86
内蔵 OS システム			
CPU コア数	8 コア		
RAM	8G		
ROM	128GB (オンボード 64GB + SD カード 64GB)		
マルチメディアファイルフォーマット	すべての主要な種類のマルチメディアファイルをサポートする。		
搭載のアプリ	実際のパネル表示を参照してください。		

10 詳細情報

最新の情報に関して

Newline 製のその他の製品に関する情報や、最新の情報に関しては、ウェブサイト(www.newline-interactive.com)をご確認ください。

製品サポートに関して

support@newline-interactive.com. までご連絡ください。

当社は製品改良と技術開発を継続して行っているため、製品の仕様や外観は予告なしに変更される場合があります。本書中のイラストは使用方法の説明のためのもので、製品を正確に描写したイラストではありません。